

# シグナルメール自動売買ツール 「MT4trackES」 ユーザガイド

FXSP シリーズ

<http://www.fxspseries.com/>

## ソフトウェア使用許諾契約書

本契約書は、FXSP series ソフトウェア製品と関連ドキュメント(以下まとめて“本ソフトウェア”といいます)に関して、本ソフトウェアのご購入者(以下“お客様”といいます)と本ソフトウェアの開発者(以下“著者”といいます)との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアの使用をもって、本「ソフトウェア使用許諾契約書」をご承諾いただき、ソフトウェアの使用許諾契約が成立したものとさせていただきます。

### 1. 本ソフトウェアの使用許諾

お客様は本契約への同意を前提に本ソフトウェアを使用することができます。

### 2. 著作権

本ソフトウェアは著作権法により保護されています。著作権は、著者に帰属します。また、本ソフトウェアに含まれている一部のコンポーネントは、その供給者に帰属しているものがあります。

### 3. 禁止事項

(1)お客様は、本ソフトウェアを著者の許可なく、一部、または全部を印刷物、ビデオ、電子ファイル、メール、メールマガジン、ホームページ等あらゆる手段による複製、転載、転売(オークションを含む)等を行うことを禁止します。

(2)本ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることを禁止します。

(3)上記の禁止事項を違反した場合、違約金として著者に一律 500 万円を支払う事とします。

次頁へ続く

#### 4. 免責

(1) いかなる場合においても、著者は本ソフトウェアに係わることから生ずるいかなる損害に関して、一切責任を負わないものとします。例え、著者がその可能性について知らされていた場合も同様です。

(2) お客様は、理由の如何を問わず、著者に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとします。

(3) 著者は独自の判断に基づき、本ソフトウェアの仕様又は内容の変更、修正、配布方法等の変更及び対価の設定をすることができます。

(4) 著者は本ソフトウェアの基本動作の不具合への対応は順次行いますが、環境等の諸事情により迅速な対応がとれない場合もあります。

(5) 商品の性質上、ご購入後の返品及び交換はできません。

#### 5. 本契約の終了

お客様が上記に記載された本契約の定め的一条項にでも違反した場合には、本契約は自動的に終了します。終了した場合には、お客様は本ソフトウェアおよび本ソフトウェアに関するドキュメントならびにその一切の複製を破棄しなければなりません。

#### 6. 管轄裁判所

本契約に関連して法律上の紛争が生じた場合は、仙台地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所といたします。

## 目次

ユーザガイド変更履歴.....	1
1. はじめに .....	2
MT4trackES について .....	2
MT4trackES にて売買できないシグナルメール .....	2
サポートについて .....	4
アップデートする場合の注意点.....	4
使用期限について .....	4
2. 動作環境について.....	5
自動売買を行うパソコンについて.....	5
ネットワーク環境について.....	5
動作対象 OS について.....	5
売買情報の保存先 .....	5
3. 設定手順 .....	6
インストール方法 .....	6
MT4trackES メール設定.....	10
MT4trackES メールの解析設定.....	13
設定① 設定項目説明.....	14
設定② 設定項目説明.....	17
設定③ 設定項目説明.....	20
設定④ 設定項目説明.....	23
設定⑤ 設定項目説明.....	26
特殊設定 設定項目説明.....	28
MT4trackES 通貨ペア設定.....	29
メールの解析テストを行う.....	30
MetaTrader4 側の設定 .....	32
MT4trackES_Trader(売買用 EA)をチャートへ組み込む .....	33
MT4trackES_Trader のパラメータを変更する .....	35
MT4trackES_Trader のパラメータ .....	36
動作の確認 .....	39
4. シグナルメールの自動売買を開始する.....	42
メール監視をスタートする.....	42
処理状況画面説明 .....	44
MetaTrader4 のチャート左上に表示されるコメントについて .....	47

5.	その他	49
	その他設定	49
	複数のポジションが存在する場合の決済、変更の仕様について	52
	一つの送信元アドレスから、異なるシグナルメールが来る場合の設定方法	54
	注文価格調整機能についての補足	57
	一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様	59
	MT4trackES_Trader のメール送信機能について	61
	VPS「お名前.com デスクトップクラウド」のご紹介	63
6.	MT4trackES 稼働監視ソフトについて	67
	MT4trackES の強制終了について	67
	MT4trackES 稼働監視ソフトの使用方法	68
	MT4trackES 稼働監視ソフトをご利用頂く場合の注意事項	69
7.	FAQ	75
8.	設定例	80
	例 1 すべて成り行き注文によるシグナルメール	80
	例 2 すべて成り行き注文によるシグナルメール その 2	81
	例 3 指値注文のシグナルメール	82
	例 4 特殊設定を使用するメール	83
	例 5 変更が発生するシグナルメール 1 (変更前の情報が表示されない場合)	85
	例 6 変更が発生するシグナルメール 2 (変更前の情報が表示される場合)	86
	例 7 一つのメールに複数のシグナルがあるメール 1	88
	例 8 一つのメールに複数のシグナルがあるメール 2	90
9.	お問い合わせ頂く際のお願い	92
	解析設定に関する質問	92
	不具合に関する質問	92
10.	最後に	93

## ユーザガイド変更履歴

バージョン 発行日	修正内容
Ver1.00 2009/07/01	初版
～Ver1.21	省略
Ver1.23 2011/6/1	・「 <a href="#">設定② 設定項目説明</a> 」に「全角の数字を半角に変換し解析する」と「時限式決済」の説明を追加
Ver1.24 2011/7/1	・「 <a href="#">MT4trackES_Traderのパラメータ</a> 」に「EmailLanguage」の説明を追加 ・「 <a href="#">設定① 設定項目説明</a> 」に「コメント」の説明を追加
Ver1.25 2011/10/1	・「 <a href="#">MT4trackES稼動監視ソフトについて</a> 」強制終了対策を行った旨を記載。
Ver1.26 2012/2/1	・「 <a href="#">VPS「お名前.com デスクトップクラウド」のご紹介</a> 」を追加
Ver1.27 2012/2/1	・「 <a href="#">設定② 設定項目説明</a> 」の時限式決済の説明に「約定済みポジションは決済しない」の説明を追加 ・「 <a href="#">設定⑤ 設定項目説明</a> 」の説明を追加
Ver1.28 2012/5/1	・「 <a href="#">設定⑤ 設定項目説明</a> 」の説明を修正
Ver1.29 2012/7/1	・一部の記載ミスの修正 ・「 <a href="#">設定② 設定項目説明</a> 」に「全角の英字を半角に変換し解析する」の説明を追加

## 1. はじめに

### MT4trackESについて

MT4trackES は、シグナルメールを解析し、MetaTrader4 で自動売買を行うツールです。売買を行うには取引プラットフォームに MetaTrader4 を採用している FX 業者へ口座開設する必要があります。

### MT4trackESにて売買できないシグナルメール

現時点では対応していないシグナルメールがございます。ご要望が多い場合などは対応を検討致します。

①メールの形式が毎回異なり、注文の特定が困難なもの

②指値価格等の前に、それを特定する為の文字列が存在しないもの(下記の例を参照してください)

解析できるメールの例	解析できないメールの例
指値価格の前に、何の価格かを特定する文字がある必要があります。	指値価格の前に、それを特定する文字列がないと解析できません。
USD/JPY 新規買い 指値価格 96.10、ストップ 95.30 に設定してください。	USD/JPY 新規買い 96.10 で買い、95.30 になったら損切りしてください。

③注文した枚数の一部を決済または変更するシグナルメール

例えば、注文時に 1 ロットにて注文したポジションの 0.5 ロットだけ決済または変更するようなシグナルメールには対応しておりません。決済、変更は注文時に発注したロットすべてに対して行われます。

#### ④ 1つのメールに複数のシグナルがあるメールの一部

1つのシグナルメールに複数のシグナルがある場合、それぞれのシグナルが「通貨ペア名」または特定の文字列にて区切られている必要があり、更にそれぞれに注文を特定する情報(通貨ペア名、新規 or 変更 or 決済、買い or 売り)が含まれている必要があります。

#### 解析できるメール例

<p>解析できるメールの例</p> <p>通貨ペア名でも特定の文字列(通貨ペア：)でも区切ることができ、それぞれのシグナルに注文を特定する情報が含まれている。</p>	<p>解析できるメールの例 2</p> <p>特定の文字列(新規 or 決済)にてシグナルが区切られており、それぞれのシグナルに注文を特定する情報が含まれている。</p>
<p>通貨ペア： USD/JPY 注文種類： エントリー ポジション： ロング</p> <p>通貨ペア： GBP/JPY 注文種類： エントリー ポジション： ショート</p>	<p>決済 売り EURJPY 新規 買い USDJPY 新規 買い EURJPY</p>

#### 解析できないメール例

<p>解析できないメールの例</p> <p>シグナルが区切られていない為、解析できない。</p>	<p>解析できないメールの例 2</p> <p>シグナルが区切られているが、それぞれに買い or 売りを判別する文字列が無い。</p>
<p>USD/JPY と GBP/JPY をそれぞれ買いでエントリーしてください。</p>	<p>すべて買いでエントリーしてください。</p> <p>新規 USDJPY 新規 EURJPY</p>

一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様については「[一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様](#)」をご確認ください。



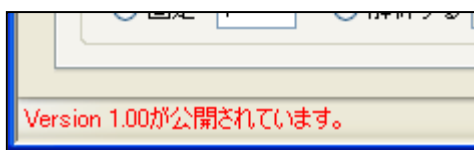
## サポートについて

MT4trackESについて、ご質問、ご要望がある場合は、お客様のお名前を明記の上、[mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com)にお願いします。メールソフトの設定によりこちらからのメールが迷惑メールフォルダに入ってしまう場合がございますので、上記アドレスからのメールを受信できるようメールソフトの設定をお願い致します。お問い合わせの回答は 3 日以内に致しますが、返答がない場合上記の原因でこちらからのメールが届いていない場合がございます。その場合はお手数ですが再度ご連絡ください。

よくある質問については[FAQ](#)ページに記載しておりますので、質問を頂く前に一度ご確認ください。お問い合わせ頂く際には「[お問い合わせ頂く際のお願い](#)」をご確認の上お問い合わせください。

## アップデートする場合の注意点

アップデートを行った場合は、MT4trackES 起動時に画面左下に通知されます。アップデートがあった際は会員サイトにアクセスし、最新版のファイルをダウンロード頂き、アップデートしてください。

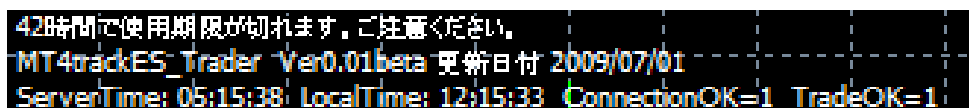


アップデートはMT4trackES と MetaTrader4 を終了した状態で、初期インストールの方法と同様にインストールしてください。また、設定はすべて引き継がれます。**売買中の場合は、すべてのポジションが決済された後にアップデートすることを推奨します。**

また、MT4trackES だけ、または MetaTrader4 側のファイルだけの入れ替えを行うと誤動作の原因となりますので、アップデートを行う際はMT4trackES と MetaTrader4 側のファイルを同時に更新してください。

## 使用期限について

使用期限が過ぎる 1 週間前から、MT4trackES\_Trader をセットしたチャート左上に使用期限が切れるまでの時間が表示されます。使用期限が過ぎますと、MT4trackES\_Trader の動作が停止しますので、会員サイトから最新の MT4trackES をダウンロード頂き、アップデートをお願い致します。毎月 1 日から使用期限が切れる日までの間に、翌月までご利用いただける MT4trackES を会員サイトにアップロードしております。



## 2. 動作環境について

当ソフトウェアは、リアルタイムで売買を行いますので、当ソフトウェアにて売買を行うには、MT4trackES.exe と、MetaTrader4 を常時起動しておく必要があります。また、リアルタイムで追跡を行う為、常時インターネットに接続されている必要があります。

### 自動売買を行うパソコンについて

MetaTrader4 が動作するパソコンであれば問題はありませんが、常時稼働させることが基本となる為、低消費電力のパソコンがよろしいかと思います。また、事故によるコンセントの抜けや、一時的なブレーカーの落ち等による電源の寸断を考えた場合、バッテリーを搭載したノート型パソコンの方が安心できます。

また、Windows Update の自動更新機能等、自動で再起動が行われる機能、またはソフトウェアを利用している場合、再起動が行われると MetaTrader4 が終了してしまいます。売買追跡中は再起動されないようにお使いの各種ソフトウェアの設定を変更してください。（設定方法はお使いのソフトウェアのマニュアルをご確認ください。）

### ネットワーク環境について

24 時間接続が必要となる為、ケーブル回線や ADSL、光接続等の定額インターネット回線でご利用ください。PHS 等のモバイル接続回線や、ISDN 等の低速接続の回線については、通信環境が安定せず当ソフトウェア本来のパフォーマンスを発揮できない場合がありますので、なるべく前述の回線をご利用ください。

### 動作対象OSについて

WindowsXP、WindowsVista、Windows7 に対応しています。VPS については「お名前.com Windows デスクトップ」のみサポート対象としております。「お名前.com Windows デスクトップ」については、[VPS「お名前.com Windows デスクトップ」のご紹介](#)をご確認ください。

**Windows Vista や Windows7 のユーザアカウント制御(UAC)機能については、MetaTrader4 の動作を阻害する可能性がある為、無効にされることを推奨致します。**

### 売買情報の保存先

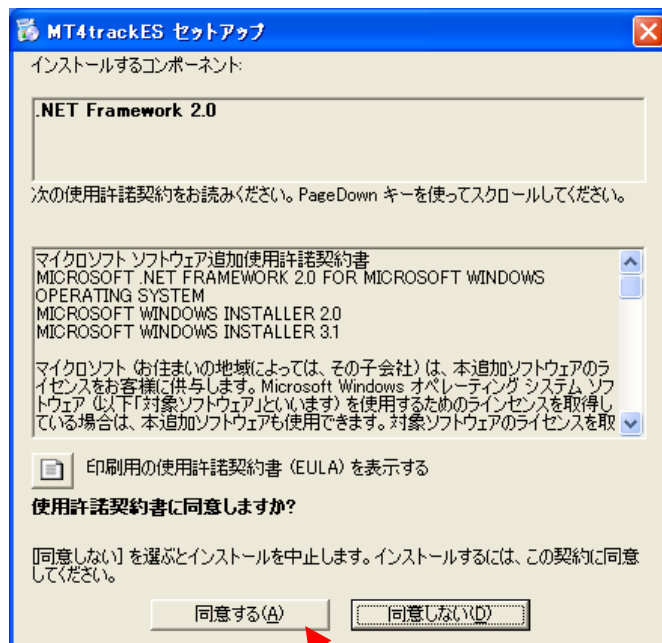
売買情報はレジストリに保存されます。レジストリクリーナー等、レジストリを削除するソフトウェアを使用されている場合は、誤動作が発生する場合がありますのでご注意ください。

### 3. 設定手順

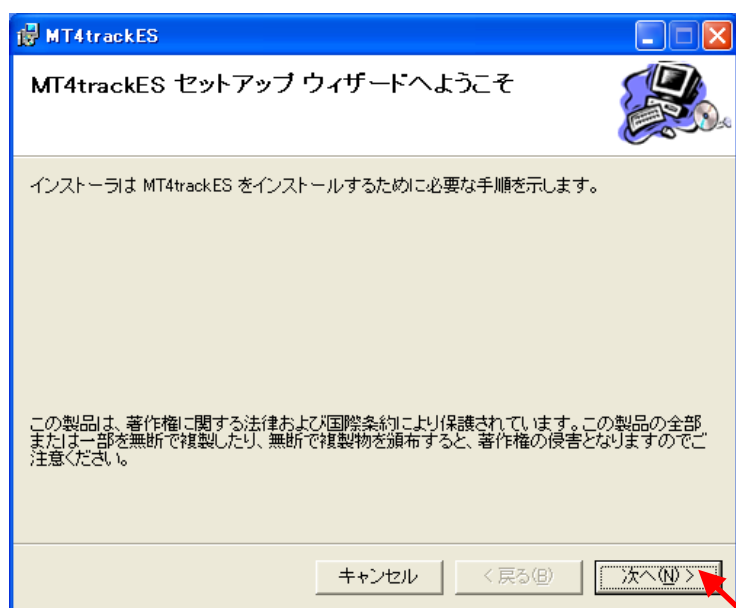
既に MetaTrader4 をインストールされていることを前提としますので、MetaTrader4 をインストールされていない場合には売買を行いたい業者の MetaTrader4 をインストール後、MT4trackES をインストールしてください。

#### インストール方法

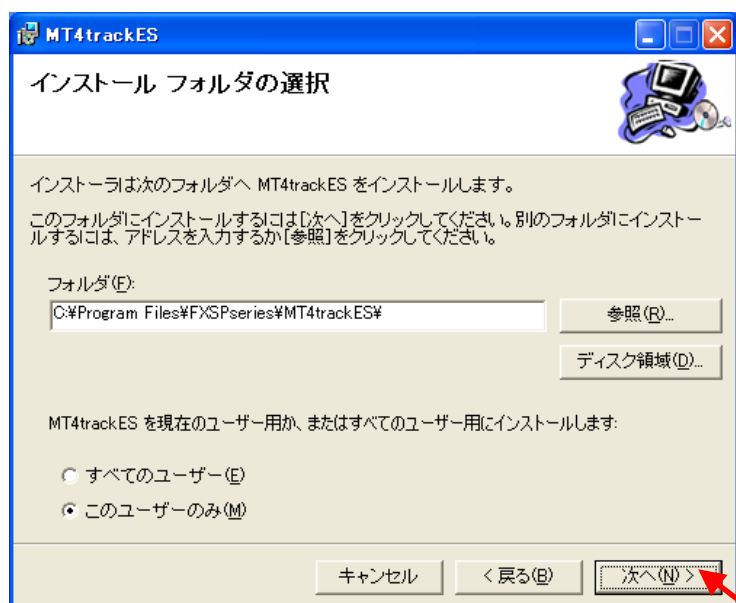
- ① MT4trackES.zip を解凍したフォルダの「setup.exe」を実行してください。
- ② MT4trackES は「.NET Framework 2.0」を使用します。**お使いのパソコンに「.NET Framework 2.0」がインストールされていない場合に下図のウィンドウが表示されますので、「同意する」を選択しインストールしてください。**



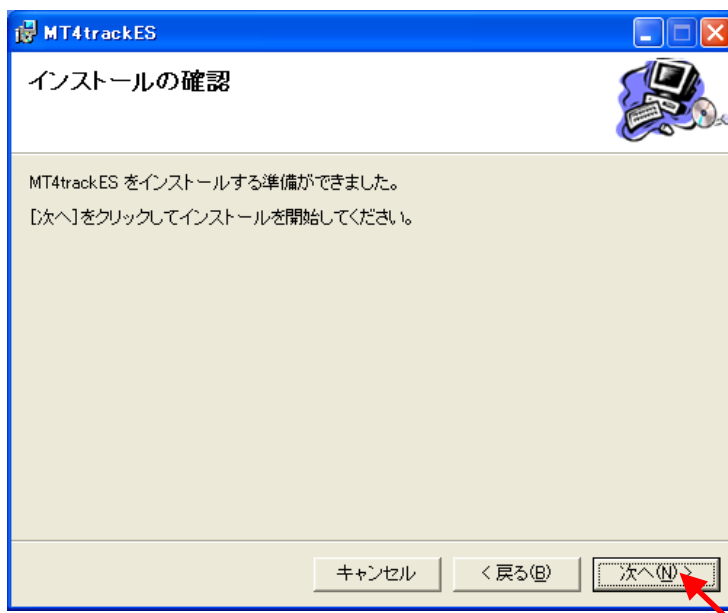
- ③ 次に MT4trackES のインストール画面が表示されます。  
「次へ」をクリックしてください。



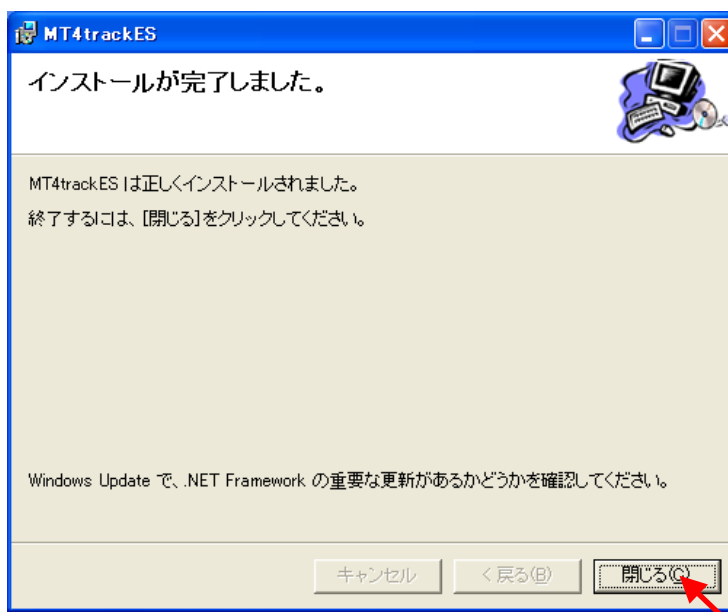
- ④ 次にインストールフォルダの選択画面が表示されます。  
変更する必要がある場合には変更して頂き、「次へ」をクリックします。



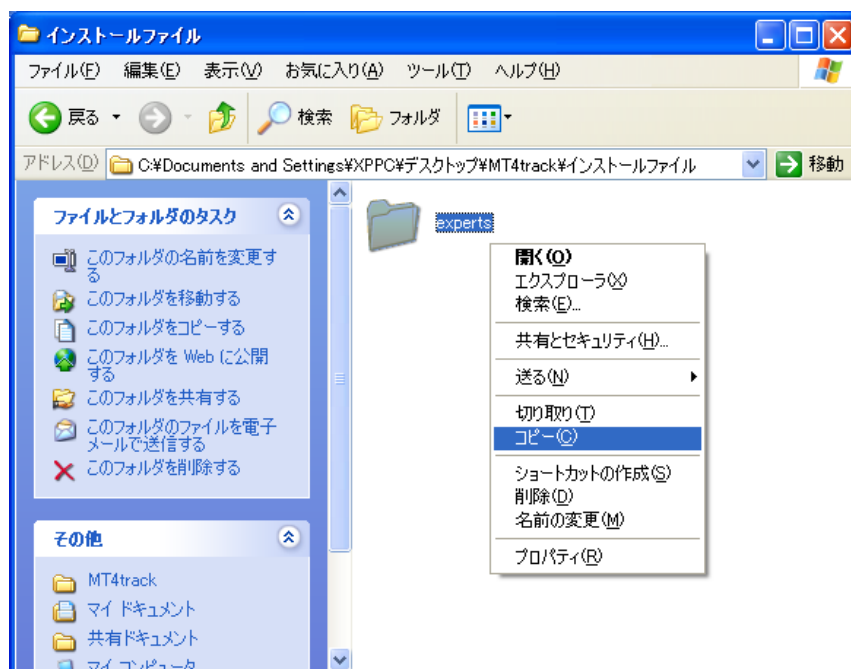
- ⑤ 次にインストールの確認画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



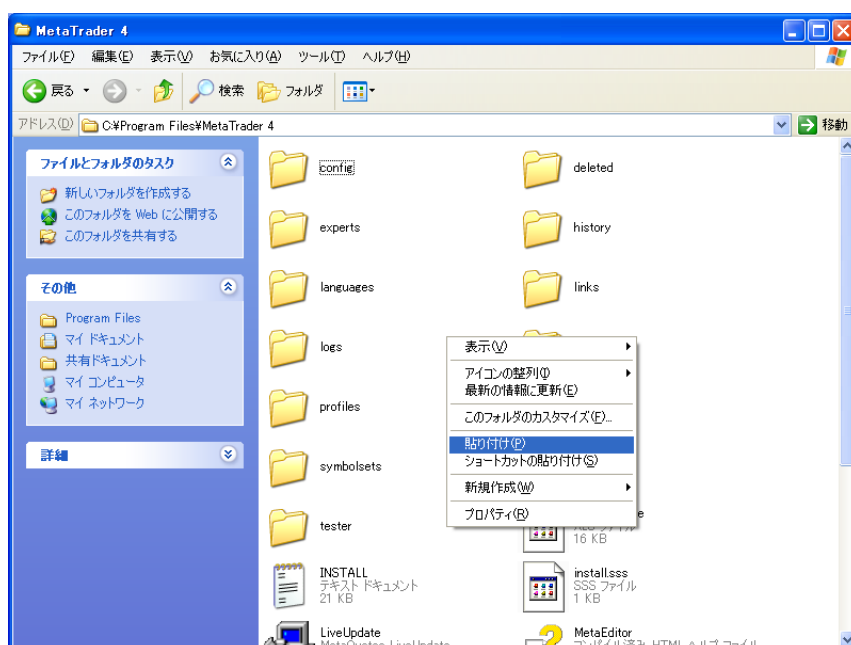
- ⑥ インストールの完了画面が表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。



- ⑦ MT4trackES.zip を解凍したフォルダ内の「MT4 インストールファイル」を開きます。  
フォルダ内に「experts」というフォルダがありますので、フォルダをコピーします。



- ⑧ 売買を行う MetaTrader4 をインストールしたフォルダを表示し  
(C:\Program Files\MetaTrader 4 等)、貼り付け(上書き)してください。



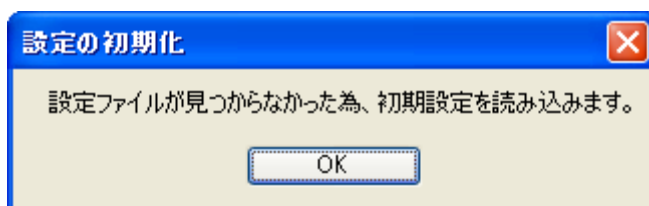
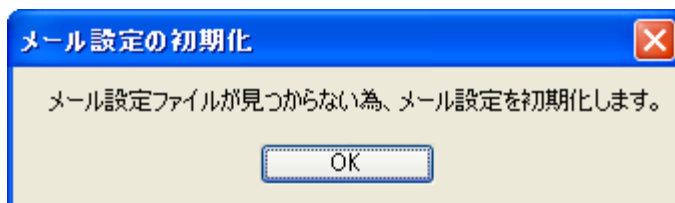
- ⑨ これでインストールは完了です。次に設定を行います。

## MT4trackES メール設定

- ① デスクトップにショートカットが作成されますので、ダブルクリックして MT4trackES を起動します。



- ② 初回起動時に以下のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。



- ③ MT4trackES が起動しますので、「メール設定」ボタンをクリックしてください。



- ④ メール設定ウインドウが表示されますので、それぞれの項目に値を設定してください。

メール設定

POPサーバー: pop.mail.yahoo.co.jp

ユーザーID: test

パスワード: \*\*\*\*\*

ポート: 995 ☒ SSL接続

監視間隔(秒): 30

接続テスト 受信済みメールを除外する

開じる

携帯に送られてくるメールは解析できませんので、Gmail で受信し、転送設定を行って携帯メールへ転送する等して頂く必要があります。(Yahoo! メールでは転送時にメールが削除されるので転送する場合には Gmail をご利用ください。)

POP サーバ	<p>受信メールのサーバを入力します。</p> <p>Yahoo! メールは「pop.mail.yahoo.co.jp」と入力してください。 Gmail は「pop.gmail.com」と入力してください。</p>
ユーザ ID	<p>アカウント名を入力します。</p> <p>Yahoo!メールはアドレスの「@yahoo.co.jp」より前の部分を入力してください。</p> <p>Gmail は「recent:aaa@gmail.com」のように、メールアドレスの前に「recent:」を付けて設定してください。</p>
パスワード	<p>メールアカウントのパスワードを入力します。</p>



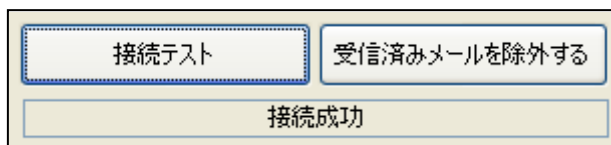
ポート	<p>ポートを指定します。</p> <p>Yahoo! メールと Gmail は、初期値の「995」のままで問題ありません。</p>
SSL 接続	<p>暗号化接続を行う場合はチェックします。</p> <p>Yahoo! メールと Gmail は、チェックした状態にします。</p>
監視間隔(秒)	<p>メールの監視間隔を指定します。</p> <p>特に問題がなければ初期値 30 のままとしてください。</p>

Yahoo! メールや Gmail 等、無料メールを利用する場合には POP アクセス機能を有効にする必要があります。以下のサイトを確認し、設定を行ってください。

Yahooメール 「<http://help.yahoo.co.jp/help/jp/mail/mailsoft/mailsoft-01.html>」

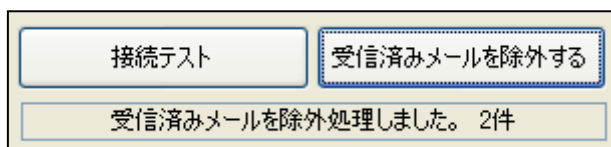
Gmail 「<http://mail.google.com/support/bin/answer.py?hl=jp&answer=13273>」

- ⑤ メールの設定が完了しましたら、「接続テスト」ボタンをクリックしてください。接続が成功すると「接続テスト」ボタンの下に接続成功と表示されます。



接続失敗と表示された場合には、入力内容を再度確認してください。

- ⑥ 接続が成功しましたら、既にメールボックスに存在するメールを除外する為に、「受信済みメールを除外する」のボタンをクリックしてください。これで、以前に受信しているメールは対象外となり、今後受信するメールのみが解析対象となります。



- ⑦ メール設定が完了しましたら、続いてメールの解析設定を行います。次の頁へお進みください。

## MT4trackES メール解析設定

MT4trackES は、画面上部の「メール解析設定選択」で、設定 1～10 までを切り替え、それぞれの設定毎に解析設定を設定できます。**解析設定ファイルがある場合には、その他設定ボタンより解析設定をインポートすることで簡単に設定できます。**詳細は「[その他設定](#)」をご確認ください。

ご自身で解析設定を行うのが困難な時や、設定を行ってみたが正しく解析されない等の場合には、「[解析設定に関する質問](#)」を参考にお問い合わせください。解析設定ファイルを作成しお送り致します。



メール解析設定選択	設定 1～10 を選択することで解析設定の表示が切り替わります。基本は送信元アドレス毎に設定を分けて解析設定を行います。同じ送信元アドレスからのメールを別々の設定で売買することもできます。
画面下部の設定項目	メールをどのように解析するかを設定します。 設定①、設定②、設定③、設定④、特殊設定のタブを切り替えると設定項目の表示が切り替わります。 <b>テキストボックスで指定する文字列は、すべてカンマ区切りで複数指定する事が可能です。</b>

## 設定① 設定項目説明

設定①	設定②	設定③	設定④	特殊設定
<input type="checkbox"/> この設定の売買を有効にする    コメント MT4trackES				
送信元アドレス <input type="text"/>				
通貨ペア設定 <input type="checkbox"/> 通貨ペアは固定値とする    AUDCAD				
処理内容 新規 <input type="text"/> 決済 <input type="text"/> 変更 <input type="text"/> 取消 <input type="text"/>				
注文種別 買い <input type="text"/> 売り <input type="text"/>				
注文数量 <input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="text" value="1"/> <input type="radio"/> 解析する <input type="text"/>				
注文方法 <input checked="" type="radio"/> すべて成行 <input type="radio"/> すべて指値 <input type="radio"/> 注文方法を解析する 成行 <input type="text"/> 指値 <input type="text"/>				
成行価格、指値価格 解析文字列 <input type="text"/>				
リミット <input type="radio"/> 価格を解析 <input type="radio"/> Pipsを解析 <input checked="" type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text"/>				
ストップ <input type="radio"/> 価格を解析 <input type="radio"/> Pipsを解析 <input checked="" type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text"/>				

この設定の売買を有効にする	<p>この設定のメール解析を有効にするか選択します。</p> <p>チェックを有効にすると設定した解析設定に従ってメール解析を行い、売買を行います。</p> <p>チェックボックスをオフにするとメールの解析を行わず、売買も行いません。</p>
コメント	<p>設定した文字列が MT4 の注文のコメント欄に表示されます。半角英数字にて 10 文字以内で設定してください。</p> <p>コメント欄には「123456@MT4trackES」のように「登録番号@設定した文字列」の形で表示されます。</p>
送信元アドレス	<p>送信元のメールアドレスを入力します。</p> <p>送信元メールアドレスとは、売買シグナルが送られてくるメールの差出人のアドレスです。</p> <p><b>複数の解析設定に、同じ送信元アドレスを指定すると(設定 1 と設定 2 に同じアドレスを指定する等)、それぞれの解析設定に従って別々に売買します。</b></p>
通貨ペア設定	<p>メール内容に通貨ペア名が含まれない場合、「通貨ペアは固定とする」チェックを有効にし、右のコンボボックスから対象通貨ペアを選択してください。</p> <p>シグナルメールに複数の通貨ペアのシグナルがあった場合は、ここで指定した通貨ペアのみ売買が行われます。</p>

処理内容	<p>新規、決済、変更、取消のどの内容のメールなのかを判別する為の文字列をそれぞれ指定します。</p> <p>それぞれに設定した解析文字列がすべてシグナルメールに含まれる場合、判別の優先順位は、優先順位が高い順に「決済」「取消」「変更」「新規」となります。</p> <p>※決済と取消は現在同じ仕様となっております。</p>
注文種別	<p>買い注文なのか、売り注文なのかを判別する文字列をそれぞれ指定します。</p>
注文数量	<p>注文数量(ロット)を固定とする場合には、「固定」のラジオボックスを選択し、右隣に注文数量を指定してください。</p> <p>注文数量がメールに含まれる場合には、「解析する」のラジオボックスを選択し、シグナルメールの注文数量の<b>直前</b>にある文字列を指定してください。</p> <p>※MM 機能を有効にした場合、この設定は無視されます。</p>
注文方法	<p>送られてくるメールがすべて成行注文の場合は、「すべて成行」を選択、すべて指値注文の場合は「すべて指値」を選択してください。</p> <p>それ以外の場合には「注文方法を解析する」を選択し、成行注文なのか、指値注文なのかを判別する為の文字列を「成行」「指値」のテキストボックスにそれぞれ指定します。</p>
成行価格、指値価格	<p>成行価格、指値価格を解析する為の設定です。</p> <p>シグナルメールの、成行価格、または指値価格の<b>直前</b>にある文字列を指定してください。</p> <p>すべて成行注文で価格が存在しない場合は空白のままでも問題ありません。</p>

リミット	<p>リミットを解析する為の設定です。</p> <p>リミットを固定で指定する場合には、「固定値」を選択し、右隣にリミットを pips で指定してください。リミットを指定しない場合は「0」を入力してください。</p> <p>リミットがメールに含まれる場合には、「価格を解析」、または「Pips を解析」を選択し、シグナルメールのリミットの<b>直前にある文字列</b>を指定してください。指定した文字列がない場合にはリミットは設定しません。</p>
ストップ	<p>ストップを解析する為の設定です。</p> <p>ストップを固定で指定する場合には、「固定値」を選択し、右隣にストップを pips で指定してください。ストップを指定しない場合は「0」を入力してください。</p> <p>ストップがメールに含まれる場合には、「価格を解析」、または「Pips を解析」を選択し、シグナルメールのストップの<b>直前にある文字列</b>を指定してください。指定した文字列がない場合にはストップは設定しません。</p>

設定② 設定項目説明

設定①	設定②	設定③	設定④	設定⑤	特殊設定
<b>その他</b>					
<input type="checkbox"/> メールの件名も解析対象に含める					
<input type="checkbox"/> 全角の数字を半角に変換し解析する					
<input type="checkbox"/> 全角の英字を半角に変換し解析する					
下記文字列が含まれるメールのみ解析する					
<input type="text"/>					
下記文字列がメールに含まれる場合は解析しない					
<input type="text"/>					
解析前に下記文字列をメール本文から削除する					
<input type="text"/>					
下記文字列以降のメール内容を解析対象から除外する					
<input type="text"/>					
<b>強制決済</b>					
<input type="checkbox"/> 下記文字列がメールに含まれる場合すべて決済する					
<input type="text"/>					
<b>時限式決済</b>					
<input type="checkbox"/> 設定した時間経過したら決済 <input type="text" value="0"/> 分					
<input type="checkbox"/> 約定済ポジションは決済しない					
<b>変更メール拡張設定</b>					
<input type="checkbox"/> 変更メールに変更前のプライスが含まれる					
変更後プライス解析文字列 <input type="text"/>					
変更後リミット解析文字列 <input type="text"/>					
変更後ストップ解析文字列 <input type="text"/>					

その他

「メール件名も解析対象とする」

メールの件名も解析対象に含める場合はチェックしてください。

「全角の数字を半角に変換し解析する」

価格や注文数量が半角表記(「価格 90.00」「ロット 1.2」等)ではなく、全角表記(「価格 9 0 . 0 0」「ロット 1 . 2」)等で表示される場合は有効にしてください。

「全角の英字を半角に変換し解析する」

全角の英字を半角に変換後、解析を行います。「USDJPY」のように通貨ペア名に全角文字が混じっていて解析できない場合などに有効にすると解析できるようになります。

「下記文字列が含まれるメールのみ解析する」

メール本文に指定した文字列が含まれる場合のみ解析します。  
カンマ区切りで複数の文字列を指定した場合は、指定した文字列のどれかが含まれていれば解析を行います。

「下記文字列がメールに含まれる場合は解析しない」

メール本文に指定した文字列が含まれる場合は解析しません。

「解析前に下記文字列をメール本文から削除する」

指定した文字列を削除後、メールの解析が行われます。

「¥r¥n」と指定するとメール内の改行を削除できます。

強制決済	<p>「下記文字列がメールに含まれる場合すべて決済する」</p> <p>チェックを有効にし、文字列を指定すると、指定した文字列がメールに含まれる場合、<b>その設定にて売買されているすべてのポジション</b>を決済します。（トレイリングストップにて決済しない設定としているポジションも決済します。）</p>
時限式決済	<p>チェックを有効にすると、ポジション登録後、設定した時間(分)経過するとポジションを自動で決済します。</p> <p>メールの受信時刻ではなく MT4trackES がポジションを登録した時間(注文状況の登録日時)が基準になります。</p> <p>「約定済みポジションは決済しない」</p> <p>このチェックを有効にすると、約定済みのポジションは決済しません。指値注文の場合など、一定時間経過しても約定しない場合はキャンセルしたいという場合に利用します。</p> <p><b>この機能は、メール監視中のみ有効になります。メールを受信するタイミングで処理を行いますので、設定した時間とは若干ずれる場合があります。</b></p>

変更メール拡張設定	<p>注文変更メールの解析に対する拡張設定です。</p> <p><b>「変更メールに変更前のプライスが含まれる」</b> 変更メールにポジションオープン時のオープンプライスが含まれる場合にチェックします。このチェックを行うことで、複数の同一方向へのポジションがある場合でも、該当のポジションのみ変更可能になります。変更前のプライスは設定①の「成行価格、指値価格」の解析文字列にて判定します。</p> <p><b>「変更後プライス解析文字列」</b> 変更後のプライスが、新規注文メールの時と表記が異なる場合にはここに指定します。</p> <p><b>「変更後リミット解析文字列」</b> 変更後のリミットが、新規注文メールの時と表記が異なる場合にはここに指定します。</p> <p><b>「変更後ストップ解析文字列」</b> 変更後のストップが、新規注文メールの時と表記が異なる場合にはここに指定します。</p> <p>変更後の価格が「プライス：95.00→95.50」等と表示される場合、解析文字列に「プライス：¥0→」と指定することで「¥0」と指定した部分を価格に置き換えて解析できます。</p>
-----------	--



## 設定③ 設定項目説明

設定①	設定②	設定③	特殊設定
<div>MM</div> <div> <input type="checkbox"/> MM機能を有効にする         </div> <div>           算出対象の証拠金種類 <input checked="" type="radio"/> 余剰証拠金 <input type="radio"/> 有効証拠金         </div> <div>           証拠金の <input type="text" value="2"/> %を使用してロット数を算出する         </div> <div>           算出する最小のロット数 <input type="text" value="0.1"/> Lots         </div> <div>           算出する最大のロット数 <input type="text" value="1"/> Lots         </div> <div> <div>スプレッド補正</div> <input type="checkbox"/> スプレッド分を補正して注文を行う         </div> <div> <div>注文価格調整</div> <div>           買値(Ask)調整 <input type="text" value="0"/> pips         </div> <div>           売値(Bid)調整 <input type="text" value="0"/> pips         </div> </div>			
<div>トレイリングストップ</div> <div> <input type="checkbox"/> トレイリングストップ機能を有効にする         </div> <div>           リミットライン指定(pips指定、マイナスでの指定も可)         </div> <div> <div>           リミットライン1 <input type="text" value="0"/> </div> <div>           リミットライン6 <input type="text" value="250"/> </div> </div> <div> <div>           リミットライン2 <input type="text" value="50"/> </div> <div>           リミットライン7 <input type="text" value="300"/> </div> </div> <div> <div>           リミットライン3 <input type="text" value="100"/> </div> <div>           リミットライン8 <input type="text" value="350"/> </div> </div> <div> <div>           リミットライン4 <input type="text" value="150"/> </div> <div>           リミットライン9 <input type="text" value="400"/> </div> </div> <div> <div>           リミットライン5 <input type="text" value="200"/> </div> <div>           リミットライン10 <input type="text" value="450"/> </div> </div> <div> <div>補助機能</div> <div>           リミットライン <input type="text" value="10"/> に達した場合は決済する         </div> <div> <input type="checkbox"/> 決済メールが来ても決済せずにポジションを維持する         </div> </div>			

MM 機能を有効にする	<p>チェックをすると MM(マネーマネジメント)機能が有効になり、設定した条件でロット数を自動算出し、発注を行います。</p> <p>証拠金が\$5000 で証拠金の 2%と設定した場合、  <math>5000 \times 0.02 = \\$100</math> の証拠金で注文できる最大のロット数で注文されます。</p>
算出対象の証拠金種類	余剰証拠金を基にロット数を算出するか、有効証拠金を基にロット数を算出するかを選択します。
証拠金の〇%を使用してロット数を算出する	算出対象の証拠金種類で選択した証拠金の何%を使用してロット数を算出するかを設定します。
算出する最小のロット数	MM 機能で算出する最小のロット数を設定します。MM 機能で算出されたロット数が設定したロットより小さかった場合、ここで設定したロット数で注文を行います。
算出する最大のロット数	MM 機能で算出する最大のロット数を設定します。MM 機能で算出されたロット数が設定したロットより大きかった場合、ここで設定したロット数で注文を行います。

スプレッド補正	<p>価格がすべて売値 (Bid) で指示される場合に、買い指値 (買い注文の指値、売り注文のストップとリミットの指値) をスプレッド分プラスして注文する場合はチェックを有効にしてください。</p> <p>スプレッドは MT4trackES_Trader をセットしているブローカーのスプレッドを使用します。</p>
注文価格調整	<p>シグナル配信者のブローカーと、売買を行う MetaTrader4 のブローカーとの Bid 値、Ask 値の差を入力し、売買されるタイミングを合わせる機能です。</p> <p>配信者のブローカーでは約定したが、自身のブローカーでは約定しなかった等の問題を回避できます。</p> <p><b>買値 (Ask) 調整</b></p> <p>買い注文の指値、売り注文のストップ、リミットに対して調整値をプラスまたはマイナスし注文を行います。</p> <p><b>売値 (Bid) 調整</b></p> <p>売り注文の指値、買い注文のストップ、リミットに対して調整値をプラスまたはマイナスし注文を行います。</p> <p>設定方法についての詳細は、「<a href="#">注文価格調整機能についての補足</a>」をご確認ください。</p> <p>※一律での設定となりますので複数の通貨ペアのシグナルが送られてくる場合には通貨ペア毎に解析設定を分けて設定する必要があります。</p> <p>※既にポジションがある場合には、調整値の変更を行わないでください。レート指定された決済、注文変更ができなくなります。</p> <p>※リミット、ストップについては、設定①にて「価格を解析」としている場合のみ調整を行います。「pips を解析」「固定値」を選択している場合には調整を行いません。</p> <p>※注文変更メールに関してはメール内容に買い注文の変更か、売り注文の変更かを特定する文字列がある必要があります。記載がない場合価格調整が行われません。</p>

トレイリングストップ機能を有効にする	<p>チェックをするとトレイリングストップ機能が有効になります。</p> <p>※トレイリングストップの仕様について リミットラインに達した時点で、一つ前のリミットラインにストップを移動します。つまり、リミットライン2に達した時点で、リミットライン1の位置へストップが移動。リミットライン3に達した時点でリミットライン2の位置へストップが移動。同様にリミットライン10に達するまでストップ位置を移動していきます。</p> <p>例 リミットライン1=-50pips、リミットライン2=0pips、 リミットライン3=50pips、リミットライン4=100pips リミットライン4に達したら決済と設定し 買い注文(USDJPY OpenPrice=90.00)を行った場合 利益が0pips(スプレッド分プラス)になった時点で 89.50(90.00-50pips)にストップが移動、利益が50pipsになった時点で90.00(90.00+0pips)にストップが移動、利益が100pipsになった時点で強制決済となります。</p> <p>※トレイリングストップが有効の場合、約定済みの注文に対する注文変更メールのストップ変更は無視されます。</p>
リミットライン指定	リミットライン1～リミットライン10をpipsで指定してください。マイナスでの指定も可能です。
リミットラインに達した場合は決済する	指定したリミットラインに達した場合にポジションを決済します。1～10で指定してください。
決済メールが来ても決済せずにポジションを維持する	チェックをすると、既に約定した注文については決済メールが来ても決済を行わず、トレイリングストップ機能によってストップで決済されるまで(またはリミットに達するまで)決済しません。

設定④ 設定項目説明

設定①

設定②

設定③

設定④

設定⑤

特殊設定

リミット・ストップ拡張設定

新規注文時リミット固定指定  pips

☐ 指定されたリミットを優先とする

新規注文時ストップ固定指定  pips

☐ 指定されたストップを優先とする

決済メール拡張設定

☐ 決済メールの「買い」「売り」を逆にして解析する

複数シグナルの拡張設定

☐ 指定区切り解析を有効にする

区切り文字列

売買拡張設定

☐ ドテン売買を行う

☐ 同一方向への追加注文は無視する

☐ 新規注文時に同じ通貨ペアの現在のポジションをすべて決済後注文する

注文数量拡張設定

☐ 注文数量をn倍して注文する  倍

リミット・ストップ拡張設定	<p>設定①のリミット、ストップ設定とは別に、新規注文時に固定でリミット・ストップを設定したい場合に設定を行います。</p> <p>この機能を利用することで、新規注文時は固定リミット・固定ストップ、注文変更時はメール内容から価格を解析して設定という形が可能になります。</p> <p><b>「新規注文時リミット固定指定」</b></p> <p>新規注文時に固定でリミットを指定する場合には、ここに pips でリミット値を指定します。</p> <p><b>「指定されたリミットを優先とする」</b></p> <p>チェックをすると、メール内容にリミットが指定されている場合はそちらを優先とします。</p> <p><b>「新規注文時ストップ固定指定」</b></p> <p>新規注文時に固定でストップを指定する場合には、ここに pips でストップ値を指定します。</p> <p><b>「指定されたストップを優先とする」</b></p> <p>チェックをすると、メール内容にストップが指定されている場合はそちらを優先とします。</p>
---------------	--

<p>売買拡張設定</p>	<p>「ドテン売買を行う」</p> <p>チェックすると、新規注文メールが来た時、該当通貨ペアの反対方向の注文を決済した後に新規注文を行います。</p> <p>「同一方向への追加注文は無視する」</p> <p>チェックすると、新規注文メールが来た時、同一方向への該当通貨ペアの注文が既に存在する場合には、注文は無視します。</p> <p>「新規注文時に同じ通貨ペアの現在のポジションをすべて決済後注文する」</p> <p>チェックをすると、新規注文シグナルが来た時に、既に存在する同じ通貨ペアのポジションをすべて決済後、新規注文を行います。</p>
<p>注文数量拡張設定</p>	<p>「注文数量を n 倍して注文する」</p> <p>チェックをすると、テキストボックスに設定した倍率を、解析された注文数量にかけて注文を行います。</p> <p>例えばテキストボックスに「0.1」と設定すると、解析されたロット数が2ロットの場合は<math>2 \times 0.1</math>となり、0.2ロットにて注文が行われます。</p> <p>※設定①タブの「注文数量」で「解析する」を選択している場合のみ有効です。また、MM機能が有効の場合にはこの設定は無視されます。</p>
<p>決済メール拡張設定</p>	<p>「決済メールの「買い」「売り」を逆にして解析する」</p> <p>チェックすると、決済メールの売買方向を反転して解析を行います。下記の例のように、売買方向の指定が新規注文時と決済時で逆になるシグナルメールはチェックをしてください。</p> <p>例</p> <p>[新規注文メール]    新規 EURJPY 126.59 <b>買</b></p> <p>[決済メール]        決済 EURJPY 126.60 <b>売</b></p>

複数シグナルの拡張 設定	<p><b>「指定区切り解析を有効にする」</b></p> <p>一つのメールに複数のシグナルがある場合、通常は通貨ペア名でシグナルを区切って解析を行います。このチェックを有効にすると、「区切り文字列」に指定した文字列でシグナルを区切って解析を行います。</p> <p>解析の仕様については「<a href="#">一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様</a>」をご確認ください。</p> <p><b>「区切り文字列」</b></p> <p>シグナルを区切る文字列を指定します。カンマ区切りで複数の指定が可能です。</p>
-----------------	---

設定⑤ 設定項目説明

設定①

設定②

設定③

設定④

設定⑤

特殊設定

指定時間帯シグナル無視設定

☐ 指定した時間帯はシグナルを無視する

0

時<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

分<sup>↑</sup><sub>↓</sub>から<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

時<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

分<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

☐ 新規注文のみ無視する

指定時刻発注設定

☐ 指定した時間まで待機して注文を行う

0

時<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

分<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

指定時刻決済設定

☐ 指定した時間に保有ポジションの決済、取消を行う

毎日<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

時<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

分<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

☐ 約定済ポジションは決済しない

☐ 金曜日のみ以下の時間に決済する

0

時<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

0

分<sup>↑</sup><sub>↓</sub>

(24時以降を指定で土曜日決済 24時＝土曜0時)

指定時間帯シグナル無視設定	<p>特定の時間帯のシグナルを無視したい場合に使用します。</p> <p><b>「指定した時間帯はシグナルを無視する」</b> チェックを有効にし、時刻を指定すると、指定した時間帯はシグナルが無視されます。時は0～23、分は0～59で指定します。 2時0分から14時0分と指定すると、2時00分～13時59分59秒までの間に受信したシグナルが無視されます。</p> <p><b>「新規注文のみ無視する」</b> チェックを有効にすると、新規注文のみが無視され、変更、取消、決済は通常通り処理されます。</p> <p>時刻はご利用のPCの時刻で指定します。ご利用のPCの時刻が日本時間になっていれば、日本時間で指定します。</p>
---------------	--

指定時刻発注設定	<p>「指定した時間まで待機して注文を行う」</p> <p>チェックをして時刻を指定すると、メールを受信しても即座に注文せず、指定時刻まで待機し注文を行います。注文を行う時間が指定されているシグナル等にご利用ください。</p> <p>指定時刻以降(10時30分と指定した場合は11時以降)にシグナルが来た場合は翌日の指定時刻まで待機となりますのでご注意ください。</p> <p>対象のシグナルは新規注文のみとなります。変更、決済は即座に処理が行われます。</p> <p>この機能はメール監視中のみ有効になります。メールを受信するタイミングで処理を行いますので、設定した時刻とは若干ずれる場合があります。時刻はご利用のPCの時刻で指定します。ご利用のPCの時刻が日本時間になっていれば、日本時間で指定します。</p>
指定時刻決済設定	<p>「指定した時間に保有ポジションの決済、取消を行う」</p> <p>チェックをして時刻を指定すると、指定した時刻にこの送信元の注文をすべて削除(決済、取消)します。既にポジションがある場合でも変更可能です。また、10時30分と指定した場合は10:30~10:59の間新規注文はエラーとなります。</p> <p>「約定済みポジションは決済しない」</p> <p>チェックをすると指値、逆指値注文の注文予約のみ取消処理が行えます。</p> <p>「金曜日のみ以下の時間に決済する」</p> <p>金曜日のみ別の時間に決済したい場合には、チェックをして時刻を指定してください。時刻を24時以降に設定すると土曜日に決済することができます。その場合、金曜日は決済が行われません。</p> <p>金曜日の0時~23時は0時~23時で指定 土曜日の0時~23時は24時~47時で指定します。</p> <p>この機能はメール監視中のみ有効になります。メールを受信するタイミングで処理を行いますので、設定した時刻とは若干ずれる場合があります。時刻はご利用のPCの時刻で指定します。ご利用のPCの時刻が日本時間になっていれば、日本時間で指定します。</p>



特殊設定 設定項目説明

特殊なメール解析の場合に使用する解析設定です。

設定①

設定②

特殊設定

特殊設定1 買いと売りの指値が同時に通知されるブレイクアウト系メール配信

☒ 特殊設定1を有効にする

☒ 片方が約定した場合、もう片方の注文をキャンセルする

買い指値 解析文字列

買

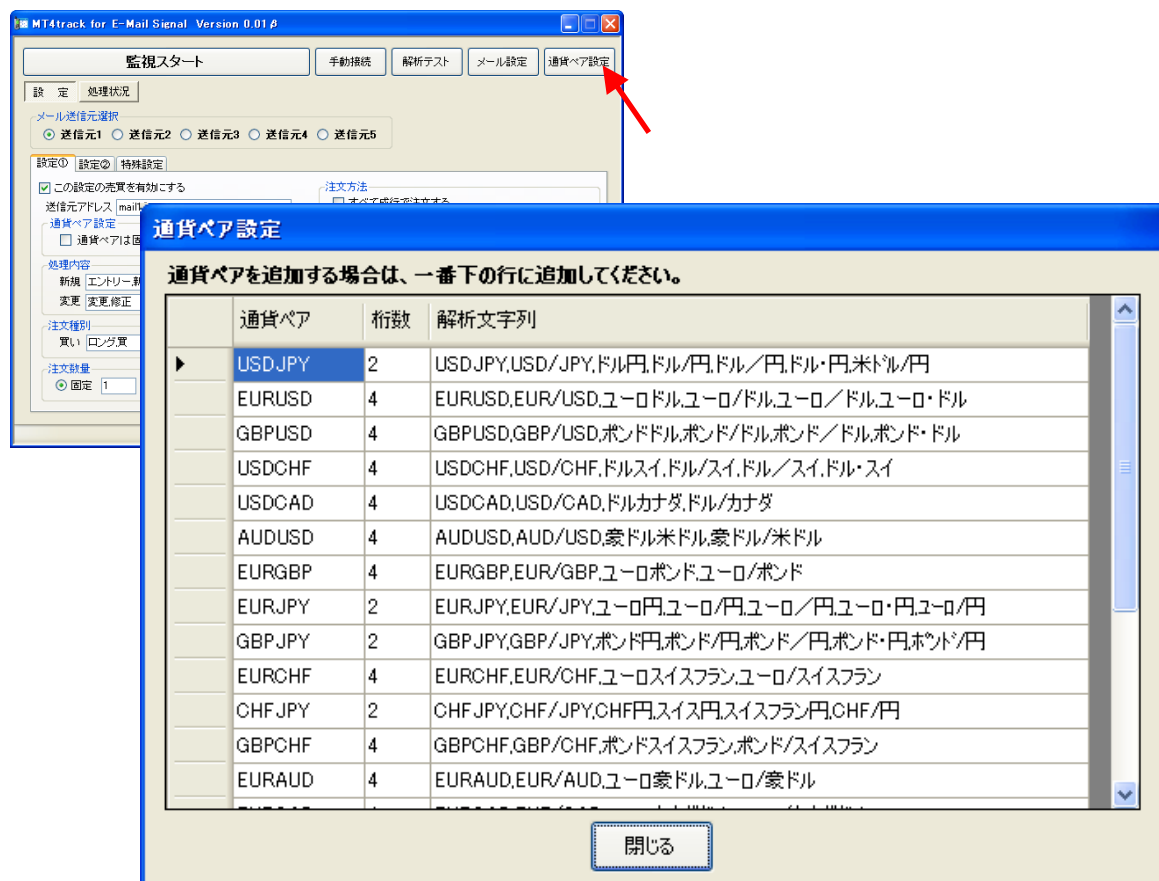
売り指値 解析文字列

売

特殊設定 1	<p>買いと売りの注文が同時に配信されるメールシグナル用の設定です。</p> <p>「特殊設定 1 を有効にする」</p> <p>特殊設定 1 によるメール解析設定が有効になります。通常のメールを解析する場合にはチェックをオフにしてください。</p> <p>「片方が約定した場合、もう片方の注文をキャンセルする」</p> <p>チェックを有効にすると</p> <p>買いの指値注文が約定した場合は、対になる売りの指値注文が取消されます。</p> <p>売りの指値注文が約定した場合は、対になる買いの指値注文が取消されます。</p> <p>「買い指値 解析文字列」</p> <p>シグナルメールの、買い指値価格の直前にある文字列を指定してください。</p> <p>「売り指値 解析文字列」</p> <p>シグナルメールの、売り指値価格の直前にある文字列を指定してください。</p>
--------	---

## MT4trackES 通貨ペア設定

通貨ペア設定ボタンをクリックして、通貨ペア設定画面を表示します。**通貨ペアの設定はすべての送信元共通で設定します。**



通貨ペア	通貨ペアを6文字で入力します。
桁数	対象通貨ペアの小数点以下桁数を数値で入力します。解析設定にて pips にて指定する項目はこの桁数を基準とします。桁数2の通貨ペアは0.01=1pips <b>必ず入力してください。</b>
解析文字列	指定した文字列がシグナルメールに存在した場合は、通貨ペア列に指定した通貨ペアと判別します。解析文字列は <b>カンマ区切りで複数指定する事が可能です。カンマ区切りで指定した場合、より左側に設定した文字列が優先されて解析されます。</b>

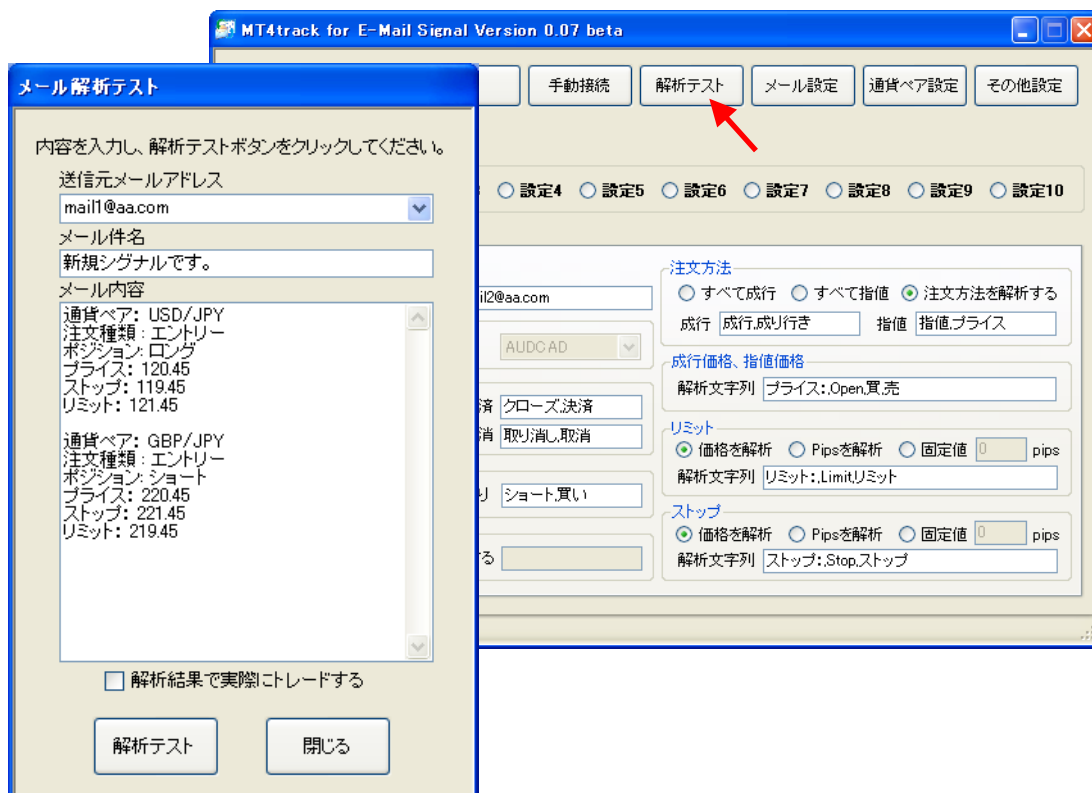
初期設定として標準的な通貨ペアは予め設定されています。解析文字列は一般的な呼び名を基に設定しておりますが、シグナルメールの通貨ペア名の表記を確認し、解析文字列に存在しない場合は、カンマ区切りで追加してください。

また、通貨ペアを追加する場合には、画面を下へスクロールし、一番下の行に新しい通貨ペアを追加してください。

## メールの解析テストを行う

メール解析の設定が終わりましたら、過去に送られてきたシグナルメール等を利用し、解析が正しく行われるかチェックを行ってください。

解析テストボタンをクリックして解析テスト画面を表示します。



送信元メールアドレス	シグナルメールの送信元を選択、または入力してください。コンボボックスには解析設定で設定した送信元一覧が表示されます。
メール件名	シグナルメールのメール件名を貼り付けしてください。(未入力可)
メール内容	シグナルメールのメール内容を貼り付けしてください。
解析結果で実際にトレードする	<p>チェックを有効にすると、実際にメールが送信されて来たときと同様に注文情報が登録されます。</p> <p>手動で注文を登録する際や、MetaTrader4 側で実際に売買されるか確認する際等にご利用してください。</p> <p>解析のテストのみ行う場合はチェックをオフにしてください。</p>

解析テストボタンをクリックすると解析結果画面が表示されます。

次の頁をご確認ください。

メールの解析テストを行うと、メールを解析した結果が表示されます。

解析結果

メール内容

送信元メールアドレス  
mail1@aa.com

メール件名  
新規シグナルです。

メール内容  
通貨ペア: USD/JPY  
注文種類: エントリー  
ポジション: ロング  
プライス: 120.45  
ストップ: 119.45  
リミット: 121.45  
  
通貨ペア: GBP/JPY  
注文種類: エントリー  
ポジション: ショート  
プライス: 220.45  
ストップ: 221.45  
リミット: 219.45

解析結果

解析成功

解析設定 設定1

通貨ペア USD/JPY

処理内容 新規

注文方法 指値

注文種別 買

ロット 1

プライス 120.45

リミット 121.45

ストップ 119.45

結果

1 / 2

< >

閉じる

メール内容	解析テストにて入力したメール内容が表示されます。
解析結果	<p>解析した結果が表示されます。</p> <p>複数の登録結果がある場合は、「&lt;」「&gt;」ボタンで結果の表示を切り替え可能です。</p> <p>解析設定：設定 1～10 が表示されます。</p> <p>通貨ペア：通貨ペア名が表示されます。</p> <p>処理内容：新規、決済、変更、取消のいずれかが表示されます。</p> <p>注文方法：成行、指値のいずれかが表示されます。</p> <p>注文種別：買、売のいずれかが表示されます。</p> <p>ロット：注文数量が表示されます。</p> <p>プライス：指値価格または“成行”が表示されます。</p> <p>リミット：リミットの価格またはPipsが表示されます。</p> <p>ストップ：ストップの価格またはPipsが表示されます。</p> <p>結果：解析が失敗した場合には、解析に失敗した項目の内容が表示されます。また、登録成功時は結果も表示されます。</p> <p>※変更メールの場合、プライス、リミット、ストップは変更後の値が表示されます。</p>

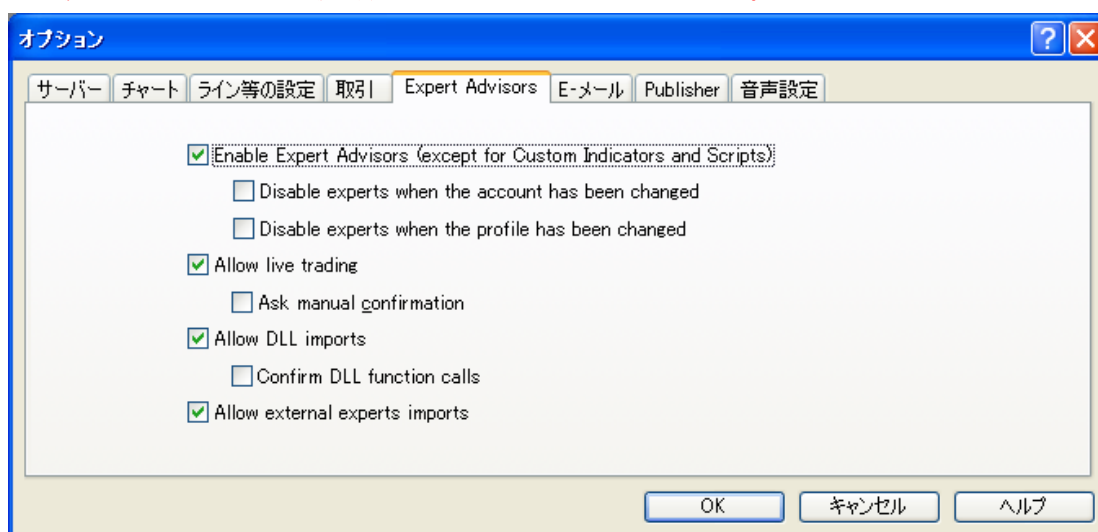
## MetaTrader4 側の設定

MetaTrader4 をインストールしたままの設定では、自動売買が行えませんので、MetaTrader4 の設定変更を行います。

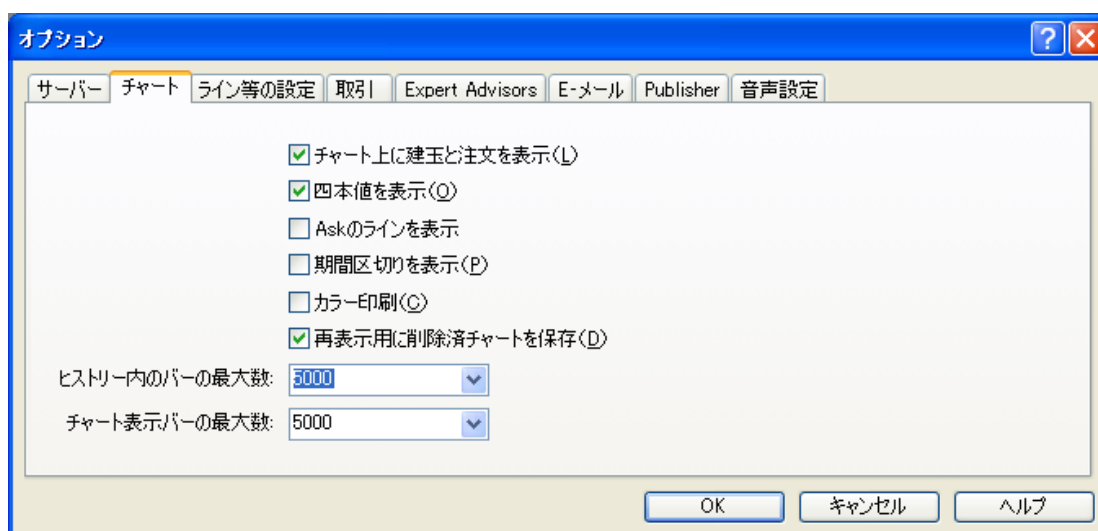
メニューバーの「ツール」→「オプション」をクリックします。

オプション設定画面が表示されますので、「Expert Advisors」のタブをクリックし

下記画面のようにチェックを変更します。**すぐに取引を開始したくない場合には、一番上の「Enable Expert Advisors」のチェックを外しておき、準備が整った段階(MT4trackESで監視スタートを行った後等)でチェックを付けてください。**

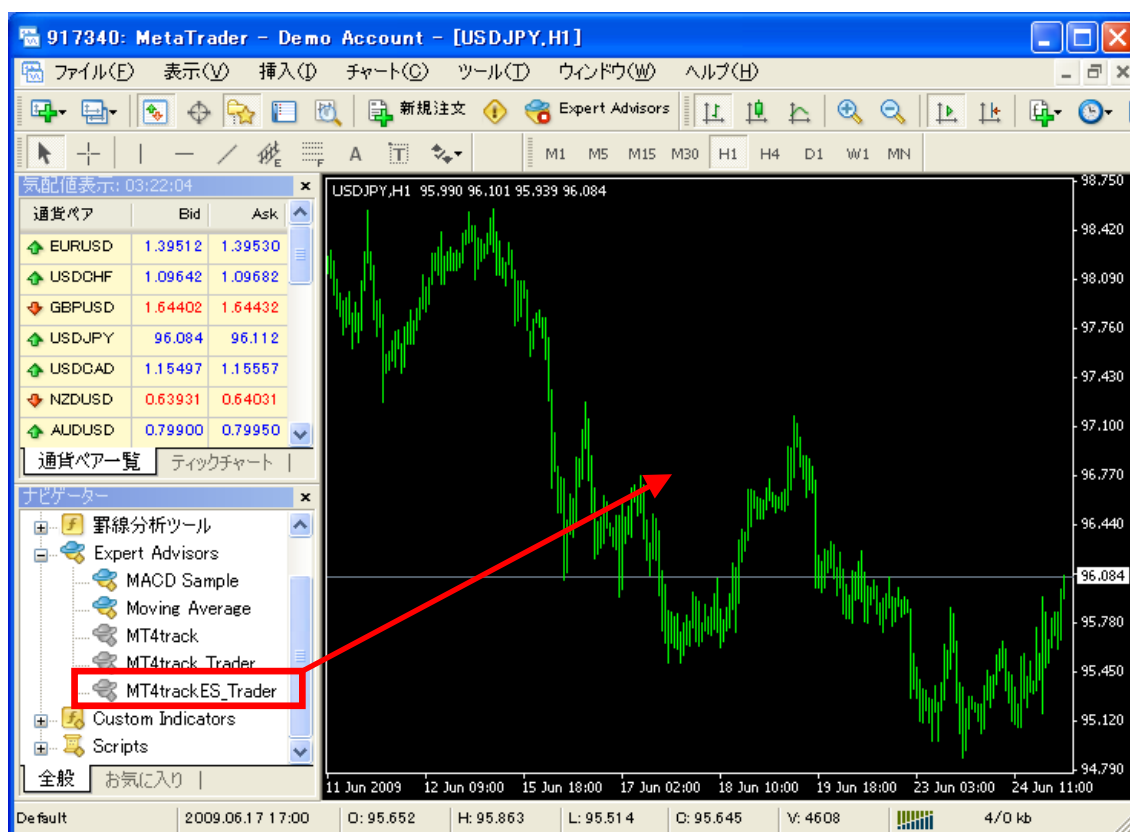


また、自動売買を行う際は、「ヒストリー内のバーの最大数」、「チャート表示バーの最大数」を小さい値にすることにより、パソコンへの負荷が少なくなります。

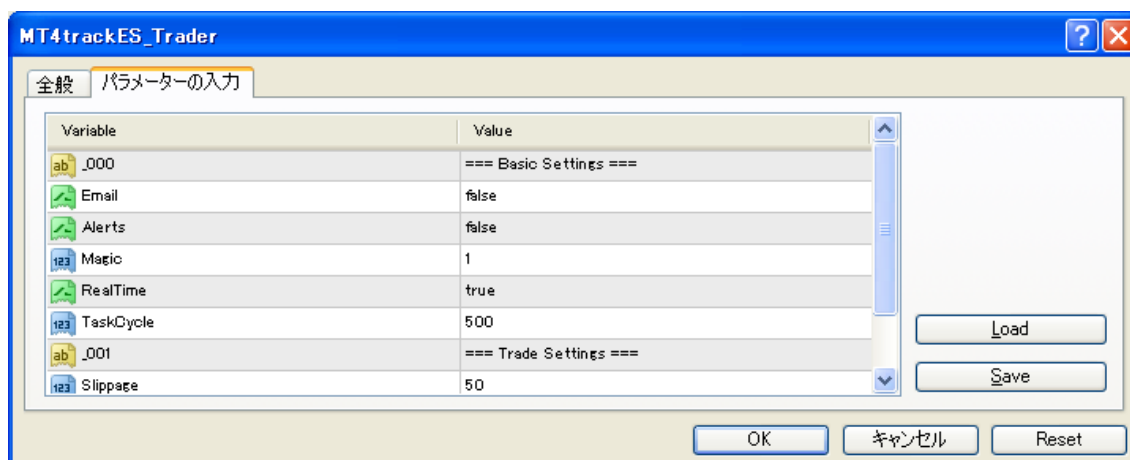


## MT4trackES\_Trader(売買用EA)をチャートへ組み込む

「MT4trackES\_Trader」を任意(通貨ペア、時間足はどれでも可)のチャートへセットします。**複数のチャートまたはMT4にMT4trackES\_Traderをセットすると正しく動作しませんので一つだけセットして頂きますようお願いいたします。**

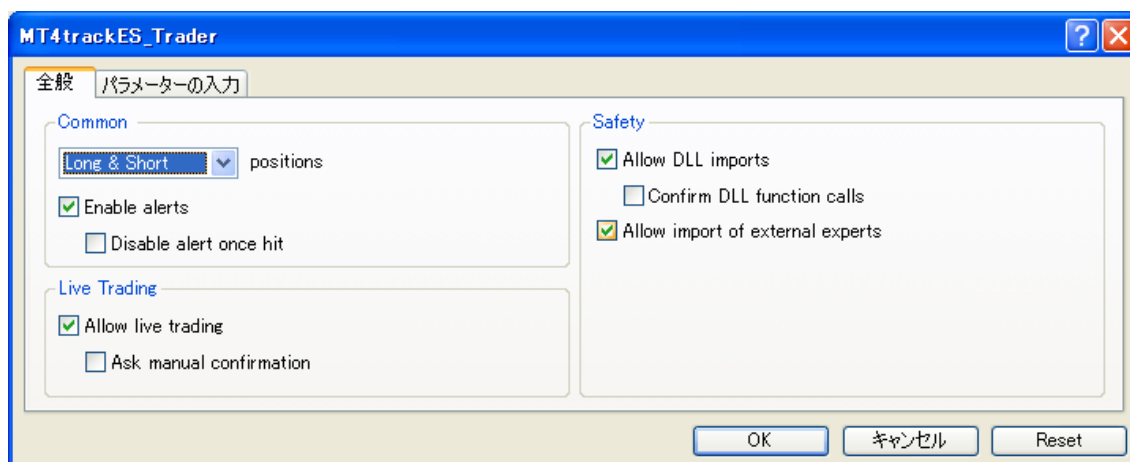


チャートへドラッグ&ドロップした際にパラメータ設定画面が出てきますので、パラメータを変更する場合にはここで変更してください。



また、「全般」タブを表示し、下記画面と同じ状態になっているか確認します。

下記画面と異なっている場合は、下記画面の通りに変更し「OK」をクリックします。



チャートに「MT4trackES\_Trader」が組み込まれると、下記画面のようにチャート右上に、名称と、稼働中のスマイルマークが表示され、左上にポジションの状況等が表示されます。

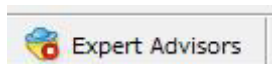


## MT4trackES\_Traderのパラメータを変更する

MT4trackES\_Trader はリアルタイム処理を行っている為、パラメータを変更する場合には、MetaTrader4 の画面上部にある「Expert Advisors」ボタンにて EA を一時停止状態にしてからパラメータの変更を行ってください。

画面上部の「Expert Advisors」をクリックすることにより、自動売買を一時的に停止することができます。

右の画像が停止状態です。



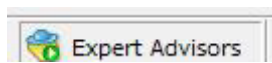
また、チャートの右上には×マークが表示され、自動売買が停止されます。

チャートを右クリックし、「Expert Advisors」→「Properties」をクリック、またはチャートを選択した状態で「F7」キーをクリックします。

パラメータ設定画面が出てきますので、値を変更し「OK」をクリックしてください。

停止状態のままでは売買が行われませんので、「ExpertAdvisors」を再度クリックして売買を開始してください。

右の画像が稼働状態です。



また、チャート右上には稼働中のスマイルマークが表示されます。



## MT4trackES\_Traderのパラメータ

基本設定	
Email	<p>true に設定すると、ポジションオープン、指値注文予約の約定、クローズ時にメールが送信されます。</p> <p>この機能を使用する場合は、MetaTrader4 のメール設定を行う必要があります。メニューバーの「ツール」→「オプション」→E-メールのタブから設定できます。</p>
EmailLanguage	<p>パラメータ「Email」が true の場合に、「0」を設定すると日本語でメールが送信されます。「1」を設定すると英語でメールが送信されます。日本語メールが文字化けする場合等に、「1」を設定してください。</p>
Alerts	<p>true に設定すると、ポジションオープン、クローズ時にアラートが鳴ります。</p>
Magic	<p>MT4trackES_Trader にて売買されたポジションには、ここで設定したマジックナンバーが設定されます。MT4trackES_Trader 以外に EA を同時に稼働する場合には、他の EA と重複しない値を設定してください。</p>
RealTime	<p>パラメータ「TaskCycle」で設定した周期毎に売買状況を確認する場合には「true」</p> <p>tick が動くごとに売買状況を確認する場合には「false」を設定します。</p> <p>推奨は「true」となります。</p>
TaskCycle	<p>パラメータ「RealTime」が「true」の場合に、何ミリ秒毎に売買状況を確認するかを指定します。</p> <p>単位はミリ秒となりますので、1000=1 秒となります。</p> <p>推奨は 500(0.5 秒)です。</p>

トレード設定	
Slippage	<p>スリッページを pips で設定します。</p> <p>スリッページとは、注文を出した値段で約定せずに不利なレートにずれて約定されてしまうことです。注文時にこのスリッページを指定することで、不利なレートへのずれの許容範囲を指定します。</p> <p>よくわからない場合には、初期値のままで問題ございません。</p>
TradeDelay	<p>設定単位は分です。</p> <p>5 を設定すると、MT4trackES にてメールシグナルを受信後、5 分以上経過した後に、MetaTrader4 側で売買を行おうとした場合に売買をエラーとします。</p> <p>例えば MT4trackES にてメールを受信後 MetaTrader4 側がなんらかの問題で動作していなかった時などに 売買させないようにする為の機能となります。</p>
TakeProfit StopLoss 設定	
ECN	<p>true に設定すると、発注時は TP、SL を設定せず、約定後に変更にて TP、SL を設定する 2 段階の発注を行います。</p> <p>成行注文で TP、SL を設定できないブローカーの場合はこのパラメータを true に設定してください。</p>

サウンドアラート設定	
SoundAlerts	<p>新規注文、決済、注文エラー、注文再試行、注文変更が発生した際に音を鳴らす場合には true を設定します。</p> <p>この機能を使用しない場合には false に設定してください。</p> <p>「OpenSound」「CloseSound」「OrderErrorSound」「RetryOrderSound」「OrderModifySound」のパラメータにて、それぞれの状況毎に別々の wav ファイルを指定できます。wav ファイルは MetaTrader4 をインストールしたフォルダの下の sounds フォルダにあります。個別に音を鳴らしたくない場合には、wav ファイル名を指定せず、空欄にしてください。</p>
OpenSound	新規注文時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
CloseSound	<p>注文決済時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。</p> <p>注：追跡先でリミット、ストップによって決済された場合には対応していません。</p>
OrderErrorSound	注文エラー時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
RetryOrderSound	注文再試行時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。
OrderModifySound	注文変更時に音を鳴らす wav ファイルを指定します。

## 動作の確認

正しく追跡されるかどうか確認を行います。**MetaTrader4 はデモ口座に切り替えて** MT4trackES\_Trader を適当なチャートへセットします。MT4trackES を起動し、メール解析テスト画面を表示してください。

テスト用に、メール内容を入力し、「解析結果で実際にトレードする」をチェックして解析テストボタンをクリックします。

**メール解析テスト**

内容を入力し、解析テストボタンをクリックしてください。

送信元メールアドレス  
mail1@aa.com

メール件名  
新規シグナルです。

メール内容

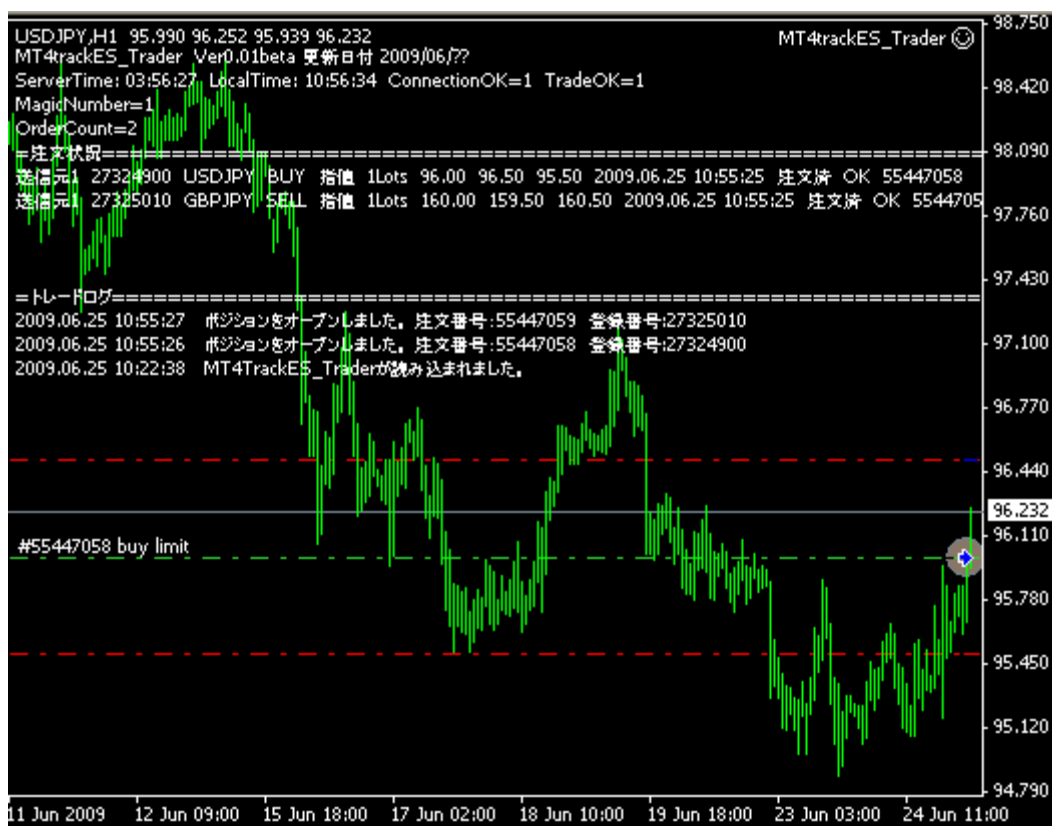
通貨ペア: USD/JPY  
注文種類: エントリー  
ポジション: ロング  
プライス: 120.45  
ストップ: 119.45  
リミット: 121.45

通貨ペア: GBP/JPY  
注文種類: エントリー  
ポジション: ショート  
プライス: 220.45  
ストップ: 221.45  
リミット: 219.45

☒ 解析結果で実際にトレードする

解析テスト      閉じる

MetaTrader4 の画面を確認すると、注文が実行され、チャート上には注文状況が表示されます。





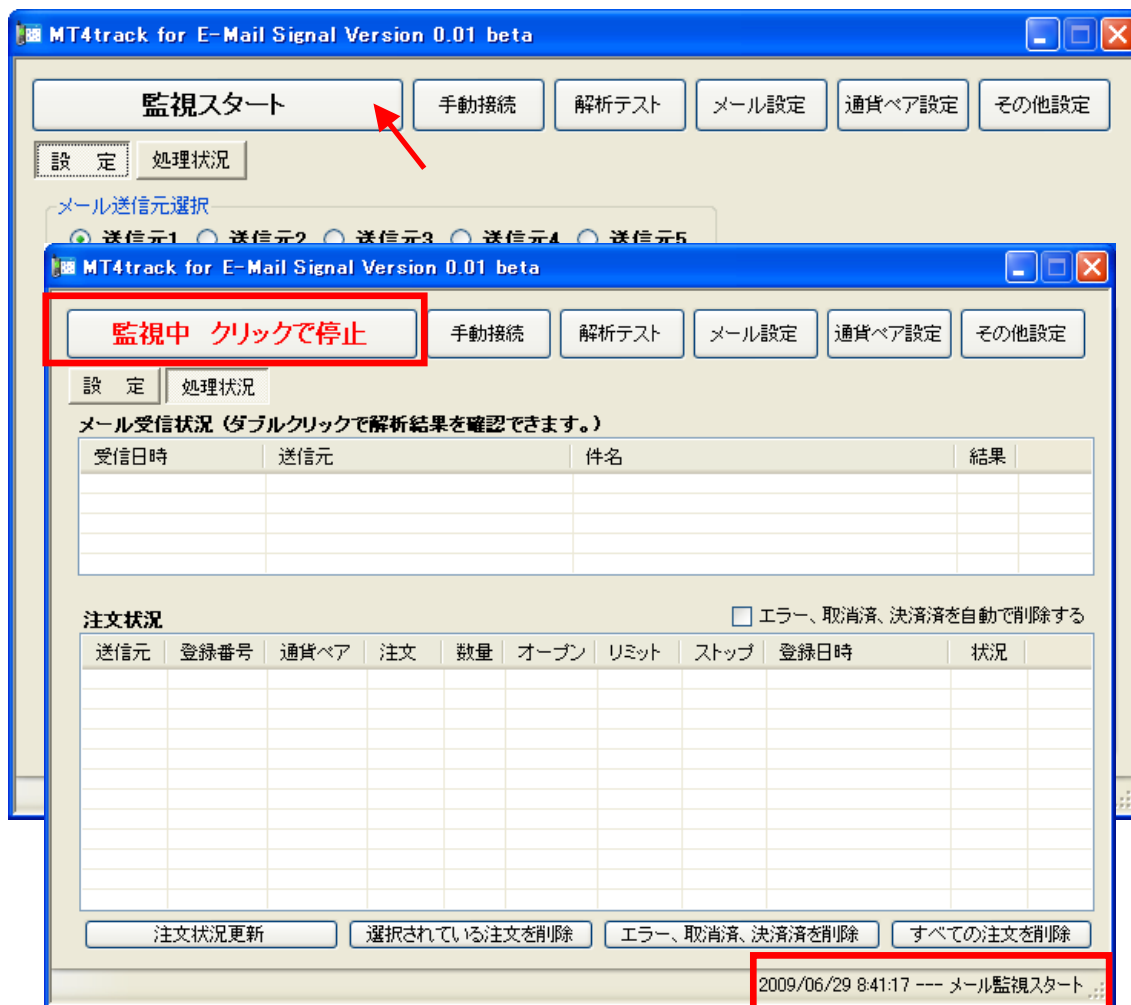
## 4. シグナルメールの自動売買を開始する

### メール監視をスタートする

メール設定、送信元毎のメール解析設定、通貨ペア設定、MetaTrader4 での MT4trackES\_Trader の設定がすべて完了しましたら、メール監視を開始します。

以前に送られてきたシグナルメールが、メールボックスに既に存在する場合には、「メール設定」ボタンをクリックして表示されるメール設定画面にて、「受信済みメールを除外する」ボタンで受信済みメールを除外してください。

「監視スタート」ボタンをクリックするとメール監視が開始され、「監視中 クリックで停止」ボタンに変わります。また、ステータスバーに監視スタートした時刻が表示されます。「監視中 クリックで停止」ボタンをクリックするとメール監視が停止します。



メールを受信すると、「メール受信状況」に受信したメールが表示されます。

解析が成功し、注文が登録されると「注文状況」に注文内容が表示されます。

「メール受信状況」のリストで、行をダブルクリックすると、メール本文と、解析結果を確認できます。

MT4track for E-Mail Signal Version 0.01 beta

監視中 クリックで停止    手動接続    解析テスト    メール設定    通貨ペア設定    その他設定

設定    処理状況

メール受信状況 (ダブルクリックで解析結果を確認できます。)

受信日時	送信元	件名	結果
2009/06/25 11:35:29	"FXSPseries" <info@fxspseries.co...>	シグナル2	○
2009/06/25 11:34:21	"FXSPseries" <info@fxspseries.co...>	シグナル	○

注文状況 ☐ エラー、取消済、決済済を自動で削除する

送信元	登録番号	通貨ペア	注文	数量	オープン	リミット	ストップ	登録日時	状況
送信元1	64990000	USDJPY	指値買	1	120.45	119.45	121.45	2009/06/29 8:43:10	

解析結果

メール内容

送信元メールアドレス  
"FXSPseries" <info@fxspseries.com>

メール内容  
新規指値注文のシグナルです。

通貨ペア: USD/JPY  
注文種類: エントリー  
ポジション: ロング  
プライス: 120.45  
ストップ: 119.45  
リミット: 121.45

解析結果

**解析成功**

送信元 送信元1    通貨ペア USDJPY

処理内容 新規    注文方法 指値

注文種別 買    ロット 1

プライス 120.45

リミット 121.45    ストップ 119.45

結果  
指値注文を登録しました。

1 / 1

<    >

閉じる



処理状況画面説明

MT4track for E-Mail Signal Version 0.01 beta

監視中 クリックで停止

手動接続

解析テスト

メール設定

通貨ペア設定

その他設定

設定

処理状況

メール受信状況 (ダブルクリックで解析結果を確認できます。)

受信日時	送信元	件名	結果
2009/06/25 11:35:29	"FXSPseries" <info@fxspseries.co...	シグナル2	○
2009/06/25 11:34:21	"FXSPseries" <info@fxspseries.co...	シグナル	○

注文状況 ☐ エラー、取消済、決済済を自動で削除する

送信元	登録番号	通貨ペア	注文	数量	オープン	リミット	ストップ	登録日時	状況
送信元1	64990000	USDJPY	指値買	1	120.45	119.45	121.45	2009/06/29 8:43:10	
送信元1	64990100	GBPJPY	指値売	1	220.45	221.45	219.45	2009/06/29 8:43:10	
送信元1	64990200	EURUSD	指値売	1	1.5000	1.5050	1.4950	2009/06/29 8:43:10	

注文状況更新

選択されている注文を削除

エラー、取消済、決済済を削除

すべての注文を削除

2009/06/29 8:43:10 --- 接続成功 メールを受信しました。 2件

メール受信状況

メールを受信すると、このリストにメールが追加されます。

送信元アドレスで登録したメールアドレスから送られてくるメールのみ表示され、MT4trackES を終了するとリストはすべてクリアされます。

リスト内の行をダブルクリックすることで、メール本文と解析結果を確認できます。

結果の列には、解析が成功した場合に「○」、失敗した場合に「×」が表示されます。**決済メールや変更メールに関しては、解析が成功しても対象のポジションが既に決済されている場合や、ポジション自体がない場合は「×」が表示されます。**

注文状況	<p>現在の注文状況が表示されます。</p> <p>状況の列には MetaTrader4 側での注文処理状況が表示されます。</p> <p>「注文済」：指値注文で注文予約を行った場合</p> <p>「約定」：成行注文が約定、または指値注文が約定した場合 (トレイリングストップが有効で決済メールが来ても決済しない設定の時は「約定※」と表示されます。)</p> <p>「決済済」：注文が決済された場合</p> <p>「取消済」：指値注文を取り消した場合</p> <p>「エラー」：なんらかのエラーで注文ができなかった場合</p> <p>「待機中」：指定時刻発注機能により注文が待機中の場合</p> <p>過去の注文履歴が大量に存在すると、パソコンへの負荷が高くなりますので、なるべく「エラー、取消済、決済済みを自動で削除する」のチェックを有効にし、履歴が自動で削除されるように設定をお願いします。結果を確認後、削除したい場合には「エラー、取消済、決済済みを削除」ボタンにて手動で削除を行ってください。</p> <p>※決済メールによって取消や決済が行われた場合は自動で削除されます。</p> <p>※履歴が 80 件以上になると、強制的に売買が終了した履歴が削除されます。(メール監視中のみ)</p> <p>※最大登録件数は 100 件までとなります。それ以上の注文が来た場合には解析失敗となり登録されません。</p>
------	--



## MetaTrader4 のチャート左上に表示されるコメントについて

```

USDJPY,H1 96.072 96.306 96.072 96.253
MT4trackES_Trader Ver0.01beta 更新日付 2009/06/27
ServerTime: 06:56:01 LocalTime: 13:55:51 ConnectionOK=1 TradeOK=1
MagicNumber=1
OrderCount=1
=注文状況=====
送信元1 38129000 USDJPY BUY 成行 1Lots 成行 200pips 100pips 2009.06.25 13:55:29 約定 OK 55463142

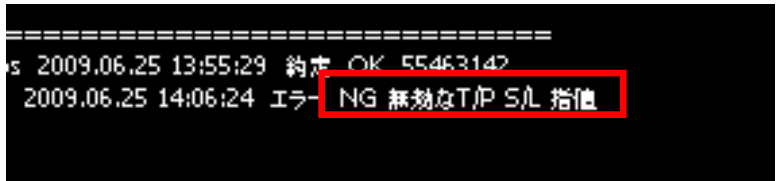
=トレードログ=====
2009.06.25 13:55:29 ポジションをオープンしました。注文番号:55463142 登録番号:38129000
2009.06.25 13:55:10 ポジションをクローズしました。注文番号:55462971 登録番号:38005900

```

バージョン情報	1 行目にはバージョン情報が表示されます。
ServerTime	業者のサーバ時間が表示されます。
LocalTime	パソコンのローカル時間が表示されます。
ConnectionOK	業者のサーバと接続されているかを表します。 1：サーバと接続されています。 0：サーバとの接続が切断されています。
TradeOK	現在トレード可能状態かどうかを表します。一時的に 0 になる場合は問題ありませんが、0 が数分以上続く場合は再ログインすることを推奨します。 1：トレードが可能な状態です。 0：EA が注文中または、注文を行ったがサーバからの応答がない時など
MagicNumber	パラメータ「Magic」に設定されている値を表示します。
OrderCount	現在追跡して売買しているポジション数を表示します。エラー等により注文が失敗したポジションや、保留中のポジションは含まれません。
注文状況	現在の注文状況が表示されます。表示項目は、MT4trackES の注文状況と同じですが、2 番目に解析設定のコメントに設定した文字列が表示されます。 行の右端には、 売買が成功した場合→「OK」の表示と注文番号が表示されます。 売買が失敗した場合→「NG」の表示とエラー内容が表示されます。
トレードログ	エラーが発生した場合、そのエラー内容や、ポジションの変更のログが表示されます。左側に表示される発生した時間はお使いのパソコンのローカル時間です。

・エラーについて

注文が失敗した場合には、注文状況の右端にエラー内容が表示されます。

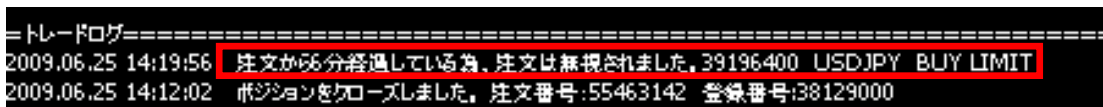


・エラー内容一覧

通貨ペアが存在しない	対象の通貨ペアが存在しない場合に表示されます。
時間経過	注文が登録されてから、MT4trackES_Trader のパラメータ「TradeDelay」に設定した時間以上経過した場合に表示されます。
無効なロット数	注文できないロット数の場合に表示されます。
注文エラー	なんらかの注文エラーが発生した場合に表示されます。
無効な T/P S/L 指値	TakeProft または StopLoss または指値が、設定できない価格（現在価格と近すぎる等）で注文された場合に表示されます。

・トレードログに表示されるエラー内容について

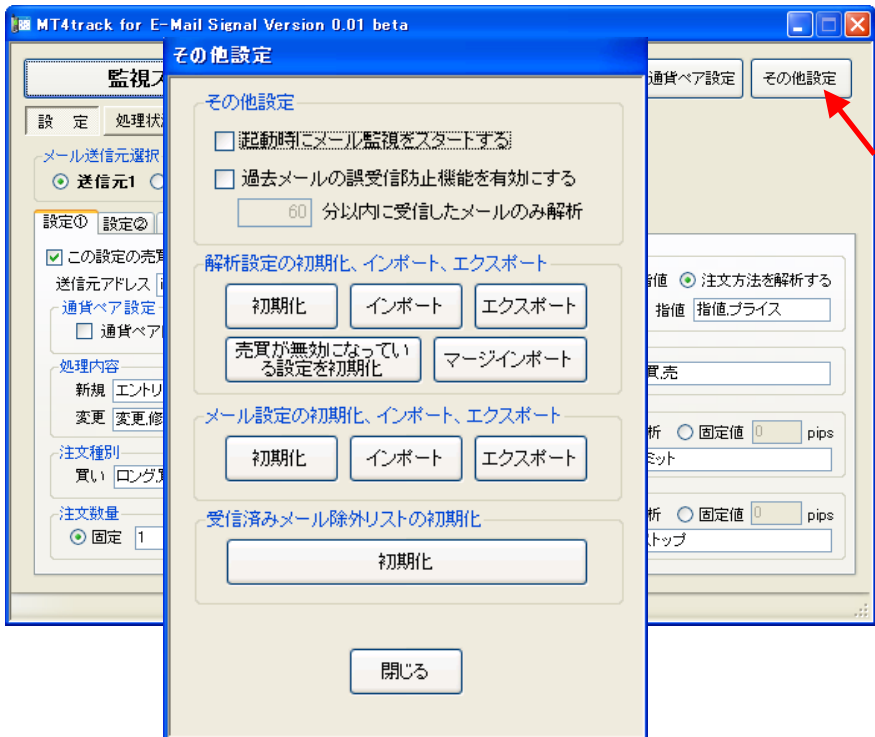
注文がエラーとなった場合には、詳細がトレードログ領域に表示されます。



## 5. その他

### その他設定

その他設定では、全体的な設定と、設定の初期化、インポート(読み込み)、エクスポート(書き出し)ができます。インポートやエクスポートはパソコンの買い替え時等に設定を移行する際に使用できます。また、設定方法についてお問い合わせ頂いた際は、こちらから解析設定ファイルをお送りする場合もございますので、その場合は、ここの画面でインポートできます。



#### その他設定

- ・「起動時にメール監視をスタートする」  
チェックをすると、MT4trackES を起動時に自動でメール監視がスタートします。
- ・「過去メールの語受信防止機能を有効にする」  
チェックをして時間(分)を指定すると、指定した時間内に受信したメールのみ解析対象となります。

解析設定の初期化、インポート、エクスポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期化 解析設定をすべて初期化します。</li><li>・ インポート MT4trackES にてエクスポートした解析設定を読み込みます。ボタンをクリックするとファイルを開くダイアログが表示されますので、読み込むファイルを選択してください。</li><li>・ エクスポート 解析設定を書き出します。ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されますので、保存場所とファイル名称を指定してください。</li><li>・ 売買が無効になっている設定の初期化 解析設定の設定①タブの「この設定の売買を有効にする」がチェックされていない設定を初期化します。</li><li>・ マージインポート MT4trackES にてエクスポートした解析設定を現在の設定に統合します。ボタンをクリックするとファイルを開くダイアログが表示されますので、読み込むファイルを選択してください。 <b>現在の解析設定で設定①タブの「この設定の売買を有効にする」がチェックされていない場所に、指定した解析設定ファイルの解析設定がインポートされます。残したい解析設定がある場合には、「この設定の売買を有効にする」をチェックした後、マージインポートを行ってください。</b></li></ul>
-----------------------	---

メール設定の初期化、インポート、エクスポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・初期化 解析設定を初期化します。</li><li>・インポート MT4trackES にてエクスポートしたメール設定を読み込みます。ボタンをクリックするとファイルを開くダイアログが表示されますので、読み込むファイルを選択してください。</li><li>・エクスポート メール設定を書き出します。ボタンをクリックするとファイル保存ダイアログが表示されますので、保存場所とファイル名称を指定してください。</li></ul>
受信済みメール除外リストの初期化	MT4trackES では、一度受信したメールは除外対象となりますが、なんらかの理由で過去に受信したメールを再受信したい場合には、このボタンにて除外リストをクリアすると再度受信ができます。



## 複数のポジションが存在する場合の決済、変更の仕様について

複数のポジションが存在している状態で、決済メールや、変更メールが来たときに、MT4trackES がどのポジションに対して、決済、変更を行うかの説明です。

### ・解析設定間での干渉について

設定 1～10 の設定毎に独立して売買される為、それぞれの設定での干渉はありません。

設定 1 で USDJPY 買い注文がある時に、設定 2 に USDJPY 決済メールが来たとしても、設定 1 の注文は影響を受けませんので、そのままポジションが保持されます。

変更メールも同様に、設定 1 で「USDJPY 指値買 95.00 ストップ 94.00」という注文がある時に、設定 2 に「変更 USDJPY 指値買 95.00 ストップ 92.00」という変更メールが来たとしても、設定 1 の注文は影響を受けません。

### ・通貨ペア一つに対して複数の注文があった場合の決済メールの処理方法

まず、下記 4 つの注文があるとします。

1. USDJPY 95.00 買い注文      2. USDJPY 95.42 売り注文
3. USDJPY 94.50 買い注文      4. USDJPY 94.50 売り注文

下図の解析設定となっているとした場合、

The screenshot shows the configuration for a specific setting in MT4trackES. Key settings include:
 

- 通貨ペア設定 (Currency Pair Setting):** 'USDJPY' is selected.
- 注文方法 (Order Method):** 'すべて成行' (All Market) is selected.
- 成行価格、指値価格 (Market Price, Stop Price):** '解析文字列' (Parsing String) is set to '価格' (Price).
- リミット (Limit):** '価格を解析' (Parse Price) is selected.
- 注文種別 (Order Type):** '買い' (Buy) is selected.

「USDJPY 価格 95.00 買い 決済」

とメールが来た場合は、価格と注文種別が一致する 1 のみ決済されます。

「USDJPY 価格 94.50 決済」

とメールが来た場合は、価格が一致する 3 と 4 が決済されます。

「USDJPY 買い 決済」

とメールが来た場合は、注文種別が一致する 1 と 3 が決済されます。

「USDJPY 決済」

とメールが来た場合は、通貨ペアが一致する 1～4 すべてが決済されます。

次頁へ続く

・通貨ペア一つに対して複数の注文があった場合の変更メールの処理方法

変更メールに関しては、指値価格の変更の可能性がある為、決済メールの処理方法とは異なり、通貨ペアと、注文種別で注文を特定し変更を行います。その為、**一つの通貨ペアで同一方向へ複数の注文がある場合には、該当する注文すべてに対して変更が行われますので、ご注意ください。**注文種別が含まれない場合は、対象通貨ペアのすべての注文が変更対象となります。

上記例外として、変更メールに、オープン時のプライスが含まれる場合には、解析設定の「設定②」の「変更メール拡張設定」にて、**「変更メールに変更前のプライスが含まれる」のチェックを付けることで、同一方向へ複数の注文がある場合でも、通貨ペア、注文種別、プライスで現在の注文を検索し、該当の注文のみ変更させることができます。**

## 一つの送信元アドレスから、異なるシグナルメールが来る場合の設定方法

一つのアドレスから、異なる種類のシグナルメールが来る場合の設定方法です。

設定1～設定10の送信元アドレスには、同じ送信元アドレスを入力することが可能です。  
同じ送信元アドレスを指定すると、それぞれの解析設定によって別々に売買します。

例えば下記のようなメールが、一つのアドレスから送信されてくる場合に、レートが重複してしまうと、「シグナル A」の決済メールで、「シグナル B」のポジションも同時に決済されてしまいます。

1通目 新規注文メール 送信元 signal@sig.com  「シグナル A」が発生しました。  通貨ペア:EUR/USD ポジション:ショート 操作種類:オープン レート:1.4060 ストップ:1.4091 リミット:1.4045 推奨枚数:1 枚	2通目 新規注文メール 送信元 signal@sig.com  「シグナル B」が発生しました。  通貨ペア:EUR/USD ポジション:ショート 操作種類:オープン レート:1.4060 ストップ:1.4120 推奨枚数:1 枚	3通目 決済注文メール 送信元 signal@sig.com  「シグナル A」が発生しました。  通貨ペア:EUR/USD ポジション:ショート 操作種類:クローズ オープン日時:6/10-9:40 オープンレート:1.4060 クローズ日時:6/10-15:23 クローズレート:1.4091 結果:-31Pips 推奨枚数:1 枚
--	---	---

上記のような場合(他にはシグナル毎にリミットを固定 pips で指定したい、シグナル毎に注文方法が異なる等)には、シグナルの種類毎に送信元設定を分けて設定してください。  
上記の例を用いて、具体的な設定方法について説明します。

次頁へ続く

まず、設定 1 と設定 2 の送信元アドレスに、同じ送信元アドレスを入力し、それぞれ設定を行います。

メール解析設定選択

☒ 設定1 ☐ 設定2 ☐ 設定3 ☐ 設定4 ☐ 設定5 ☐ 設定6 ☐ 設定7 ☐ 設定8 ☐ 設定9 ☐ 設定10

設定① 設定② 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする

送信元アドレス signal@sig.com

注文方法

☐ すべて成行 ☒ すべて指値 ☐ 注文方法を解析する

成行 指値

メール解析設定選択

☐ 設定1 ☒ 設定2 ☐ 設定3 ☐ 設定4 ☐ 設定5 ☐ 設定6 ☐ 設定7 ☐ 設定8 ☐ 設定9 ☐ 設定10

設定① 設定② 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする

送信元アドレス signal@sig.com

通貨ペア設定

☐ 通貨ペアは固定値とする USDJPY

処理内容

新規 操作種類: オープン 決済 操作種類: クローズ

変更 取消

注文種別

買い ロング 売り ショート

注文数量

☐ 固定 1 ☒ 解析する 推奨枚数:

注文方法

☐ すべて成行 ☒ すべて指値 ☐ 注文方法を解析する

成行 指値

成行価格、指値価格

解析文字列 レート:

リミット

☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips

解析文字列 リミット:

ストップ

☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips

解析文字列 ストップ:|

設定②のタブにて、「下記文字列が含まれるメールのみ解析する」の文字列に、シグナルの種類を特定する為の文字列を指定します。これで、設定 1 の解析設定で「シグナル A」が含まれたメールを、設定 2 の解析設定で「シグナル B」が含まれたメールを解析して売買することになります。

メール解析設定選択

☒ 設定1 ☐ 設定2 ☐ 設定3 ☐ 設定4 ☐ 設定5

設定① 設定② 特殊設定

その他

☒ メールの件名も解析対象に含める

下記文字列が含まれるメールのみ解析する

シグナルA

メール解析設定選択

☐ 設定1 ☒ 設定2 ☐ 設定3 ☐ 設定4 ☐ 設定5

設定① 設定② 特殊設定

その他

☒ メールの件名も解析対象に含める

下記文字列が含まれるメールのみ解析する

シグナルB

この設定で先ほどの1通目のメールの受信をすると、設定1では登録され、設定2では、解析が無視されます。

**解析結果**

メール内容

送信元メールアドレス  
signal@sig.com

メール件名

メール内容  
「シグナルA」が発生しました。  
通貨ペア: EUR/USD  
ポジション: ショート  
操作種類: オープン  
レート: 1.4060  
ストップ: 1.4091  
リミット: 1.4045  
推奨枚数: 1枚

**解析結果**  
**解析成功**

解析設定 設定1

通貨ペア EURUSD

注文方法 指値

ロット 1

注文種別 売

プライス 1.4060

ストップ 1.4091

リミット 1.4045

結果

**解析結果**  
**解析成功**

解析設定 設定2

通貨ペア

注文方法

ロット 0

注文種別

プライス 0

ストップ 0pips

リミット 0pips

結果  
解析対象とする文字列が存在しない為、この設定での解析を停止しました。

2 / 2

< >

閉じる

同様に2通目のメールを解析すると、設定2で注文が登録され、設定1では無視されます。

そして、3通目の決済メールを受信すると、設定1で注文が行われた「シグナルA」の注文のみ決済されます。

## 注文価格調整機能についての補足

注文価格調整機能はシグナル配信者のブローカーと、売買を行う MetaTrader4 のブローカーとの Bid 値、Ask 値の差を入力し、売買されるタイミングを合わせる機能です。

配信者のブローカーでは約定、決済されたが、MT4trackES\_Trader をセットしている MetaTrader4 ブローカーでは約定しなかった等の問題を回避できます。

まず、設定方法について説明します。

①配信者のブローカーの Web サイト等で気配値を表示し、同時に MT4trackES\_Trader をセットしている MetaTrader4 を起動します。

下記画像はクリック証券(左)と FXDD(右)を比較した画像です。

通貨ペア	Bid	Ask	通貨ペア	Bid	Ask
USD/JPY	91.148	91.156	USD/JPY	91.14	91.17
EUR/JPY	130.045	130.063	EUR/JPY	130.03	130.07
GBP/JPY	149.020	149.048	GBP/JPY	149.00	149.09

②Bid 値と Ask 値をそれぞれ比較し、差を算出します。

例として、上記画像の GBP/JPY について、差を算出してみます。

差は一定ではありませんので、平均的な差を設定してください。

Ask 値  $149.09 - 149.048 = +4\text{pips}$  (正しくは  $4.2\text{pips}$  ですが大体の値とします。)

Bid 値  $149.00 - 149.020 = -2\text{pips}$

③解析設定の注文価格調整に値を入力する

買値(Ask)調整に 4pips

売値(Bid)調整に -2pips

と入力します。

(pips の基準は通貨ペア設定にて通貨ペア毎に設定している桁数が基準です)

次に、実際にシグナルメールが来た時にどのように処理されるかを説明します。

現在価格は 148.50 とし

新規逆指値売り注文が下記のレート指示で来たとします。

レート：149.02

ストップ：150.50

リミット：145.50

設定されている注文価格調整の設定値に従い、注文価格の調整を行います。

注文価格調整の設定値は先程の設定例の通りとします。

買値(Ask)調整 4pips

売値(Bid)調整 -2pips

「レート：149.02」は売り注文の為、売値(Bid)調整-2pips します。

「ストップ：150.50」「リミット：145.50」は買い注文の為、買値(Ask)調整+4pips します。

結果、MetaTrader4 側では下記のレートにて発注が行われます。

レート：149.00

ストップ：150.54

リミット：145.54

配信者側のクリック証券の現在価格が 149.02 となったとすると

調整値を適用しない場合には FXDD 側が 149.02 に達していない為、クリック証券が先に約定し、FXDD 側が約定しない状態となりますが、調整値によりレートを-2pips したことでほぼ同じタイミングで約定するようになります。リミット、ストップに対しても同様です。

## 一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様

一つのメールに複数のシグナルがある場合には、通貨ペア名または特定文字列にてシグナルを区切って解析が行われます。

### ①通貨ペア名でシグナルを区切って解析を行う場合

解析設定の設定④タブ「指定区切り解析を有効にする」をチェックしていない場合はこの方法にて解析が行われます。

次のようなシグナルがあった場合には、色分けしたように文字列が分割されそれぞれが一つのシグナルとして処理されます。

サインが発生しました。

通貨ペア： USD/JPY

注文種類： エントリー

ポジション： ロング

通貨ペア： GBP/JPY

注文種類： エントリー

ポジション： ショート

通貨ペア： EUR/JPY

注文種類： エントリー

ポジション： ショート

以上です。

赤(1つ目のシグナル)：先頭から2つ目の通貨ペアの文字列の手前まで

青(2つ目のシグナル)：2つ目の通貨ペア名から3つの通貨ペア名の手前まで

緑(3つ目のシグナル)：3つ目の通貨ペア名から最後の文字列まで

### 注意点

この方法で解析する場合、同じ通貨ペアで複数の注文がある場合正しく解析が行われませんのでご注意ください。そのようなシグナルの場合には次で説明する特定文字列で区切って解析する方法をご利用ください。



## ②特定文字列でシグナルを区切って解析を行う場合

解析設定の設定④タブ「指定区切り解析を有効にする」をチェックした場合には、この解析方法にて解析が行われます。

次のようなシグナルがあった場合、注文指示の後に通貨ペア名が表示されるため、①のように通貨ペア名で区切ると色分けしたようにシグナルが区切られてしまい、正しく解析できないことから、指定区切り解析機能にて解析を行う必要があります。

シグナル発生

決済 買い EURJPY  
新規 売り EURJPY ストップ : 107.50  
新規 売り GBPUSD ストップ : 1.5520

それぞれのシグナルの先頭には「決済」または「新規」という文字列が存在する為、解析設定の設定④「指定区切り解析を有効にする」にチェックをし、「区切り文字列」に「新規, 決済」と設定をします。

複数シグナルの拡張設定

☒ 指定区切り解析を有効にする

区切り文字列

このように設定を行うことで、設定した区切り文字列から次の区切り文字列までを一つのシグナルとして認識しますので、下記で色分けしたようにシグナルが区切られ、正しく解析が行われます。

シグナル発生

決済 買い EURJPY  
新規 売り EURJPY ストップ : 107.50  
新規 売り GBPUSD ストップ : 1.5520

赤(1つ目のシグナル) : 最初に一致した区切り文字列「決済」から、次に一致した区切り文字列「新規」の手前までの文字列

青(2つ目のシグナル) : 次に一致した区切り文字列「新規」、次に一致した区切り文字列「新規」の手前までの文字列

緑(3つ目のシグナル) : 次に一致した区切り文字列「新規」から最後の文字列まで

## MT4trackES\_Traderのメール送信機能について

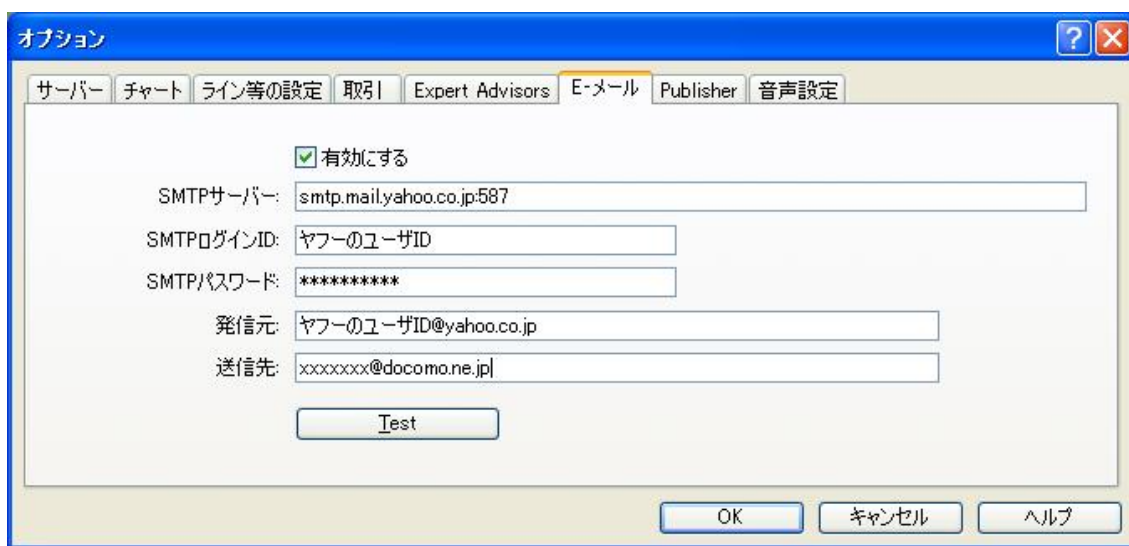
### ・MetaTrader4 メール設定の方法

MT4trackES\_Trader のパラメータ「Email」については、true に設定しただけではメールが送信されませんので、MetaTrader4 にてメールの設定を行う必要があります。

Yahoo!メールを使用した設定方法をご説明いたします。(GMail については認証の関係で MetaTrader4 側が対応していない為、新規に Yahoo!メールのアカウントを作成して頂き Yahoo!メールをご利用下さい。)

①MT4trackES\_Trader をセットした MetaTrader4 のメニューバーの「ツール」→「オプション」を開きます。

②下記のような画面が出ますので、「E-メール」タブを選択してください。



③上記画像のように値をすべて設定します。

SMTP サーバー 「smtp.mail.yahoo.co.jp:587」

SMTP ログイン ID 「Yahoo!メールのユーザ ID」(xxxx@yahoo.co.jp の xxxx の部分)

SMTP パスワード 「Yahoo!メールのパスワード」

発信元 「Yahoo!のメールアドレス」

送信先 「メールを受信したいアドレス」(携帯のアドレス等)

④Test ボタンをクリックするとテストメールが送信されます。送信先に設定したメールアドレスにメールが届いているか確認してください。届いていれば設定完了です。届いていない場合には設定が間違っている可能性がございますので、再度設定を確認してください。

・メール送信機能で送信されるメール内容

新規注文、決済(成行決済、リミット決済、ストップ決済)、指値約定、指値キャンセルの場合にメールが送信されます。例として新規注文と成行決済時のメール内容をご紹介します。(メール内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。)

【新規注文】

件名：MT4trackES 新規注文

MT4trackES にて新規注文を行いました。

注文番号：82409544

通貨ペア：USDJPY

注文種別：BUY STOP

注文数量：1.00

レート：90.00

リミット：0.00

ストップ：0.00

口座残高：4766.75

【決済】

件名：MT4trackES 決済

MT4trackES にて決済を行いました。

注文番号：82409544

通貨ペア：USDJPY

注文種別：BUY

注文数量：1.00

オープン：89.42

クローズ：89.38

損益：-44.75

口座残高：4722.00

## VPS「お名前.com デスクトップクラウド」のご紹介

### 1. VPS とは

MT4 で自動売買やコピートレードを行うためには、本来であれば常時パソコンを起動させておく必要があります。

ただし、ご家庭の場合には、電気代や騒音、パソコンの寿命などの問題により、常時パソコンを起動させておくのに抵抗がある方もいらっしゃると思います。そこで活躍するのが VPS です。

VPS (Virtual Private Server) とは、「仮想的な専用サーバ」という意味です。

「ちょっと難しそう」と思われる方もいらっしゃると思いますが、「インターネット上で 24 時間稼働している自分だけの Windows パソコン」くらいにお考えください。

「ではどうやってその VPS に接続するの?」という疑問があるかと思いますが、接続方法はいたって簡単です。VPS のお申込みをすると、VPS 業者から接続設定情報が届きますので、パソコンに備わっているリモートデスクトップ接続機能を使い、接続情報を入力することで VPS に接続できます。詳細な接続方法については後述いたします。

### 2. 弊社のおすすめ VPS

販売当初はすべての VPS に対してサポート対象としておりましたが、一部の VPS 業者をご利用のお客様から、売買が行われなかった等のご報告を受け、調査した所、VPS 側が停止したことが原因でした。

現在、無償で VPS を提供している会社も多く存在し、一定以上の取引がないと強制的に VPS が停止されてしまうといったこともあります。無償 VPS を継続して利用することで結果的に損失をこうむる結果を招いてしまう可能性が十分に起こりうる状況です。

そこで、VPS をご検討のお客様には、弊社が推奨する「お名前.com デスクトップクラウド」のご利用をお願いしております。「お名前.com デスクトップクラウド」は、弊社のシステムの動作検証等にも利用しており、サーバの安定性については一押しの VPS です。

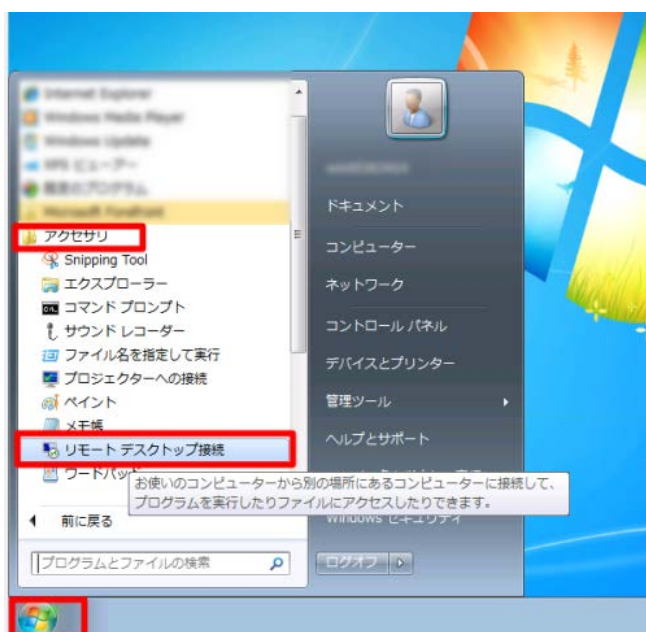
また、こちらのサービスは、レンタルサーバーの運営で最大手の GMO インターネットが提供する Windows VPS です。最大手の会社ですので、運用面も安心ですし、24 時間 365 日の無料電話サポートがあるので、初心者の方でも気軽に使えます。

[「お名前.com デスクトップクラウド」の詳細やお申し込みはこちらからご確認できます。](#)

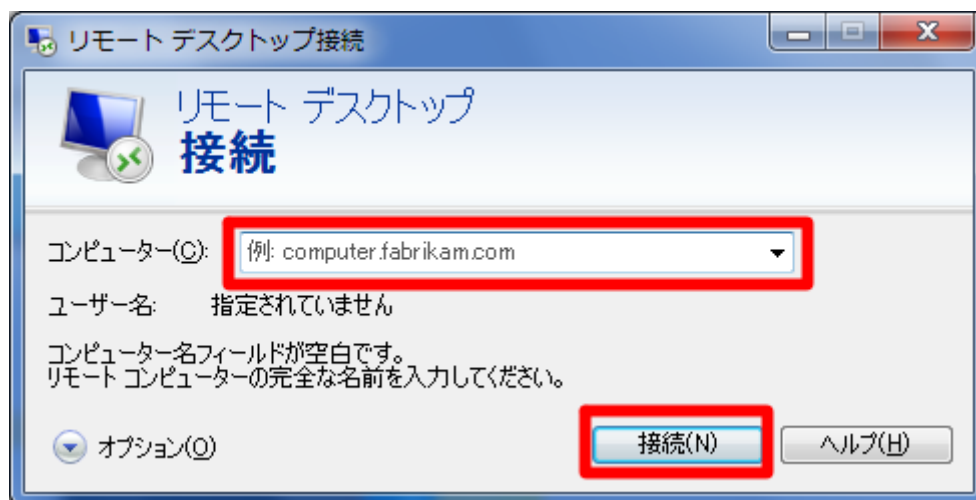
### 3. リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップという機能を使うと、自宅の WindowsPC を使うのと同様で VPS の Windows を操作することができます。

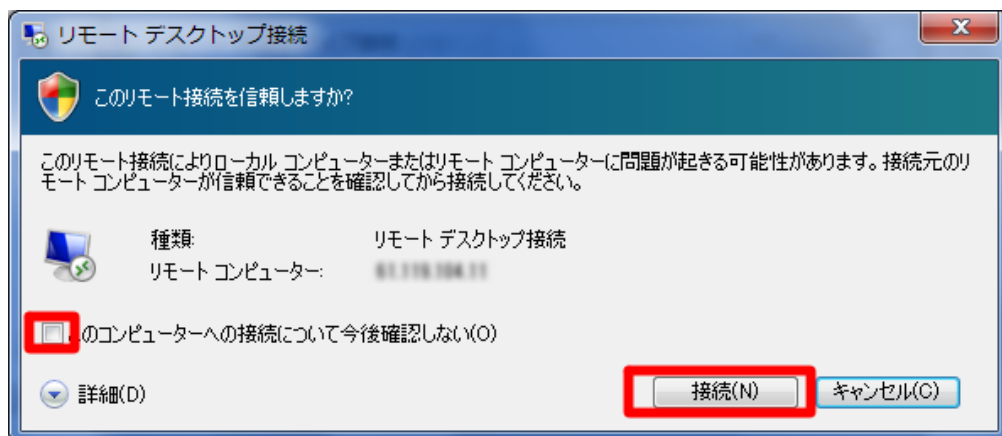
【1】 WindowsXP、WindowsVista、Windows7 をご使用の方は、リモートデスクトップが初期状態ですでにインストールされています。左下の「スタート> (すべての) プログラム> アクセサリ> リモートデスクトップ接続」を選択してください。



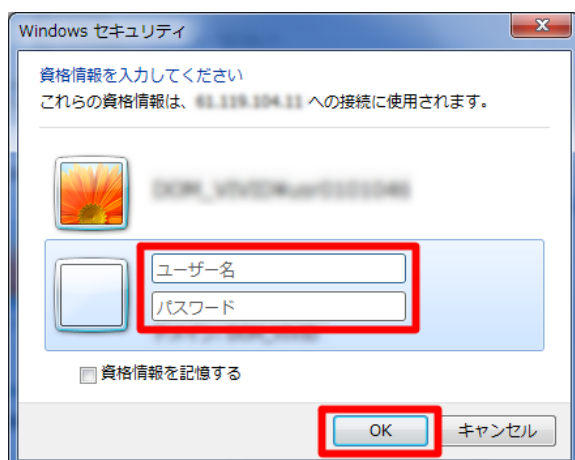
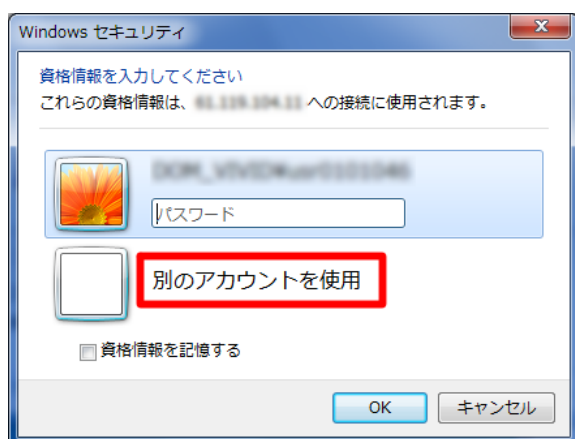
【2】 リモートデスクトップを起動すると、下記の画面になりますので、VPS 業者から届いたメールで確認した IP アドレスを、コンピューター名の欄に入力してください。



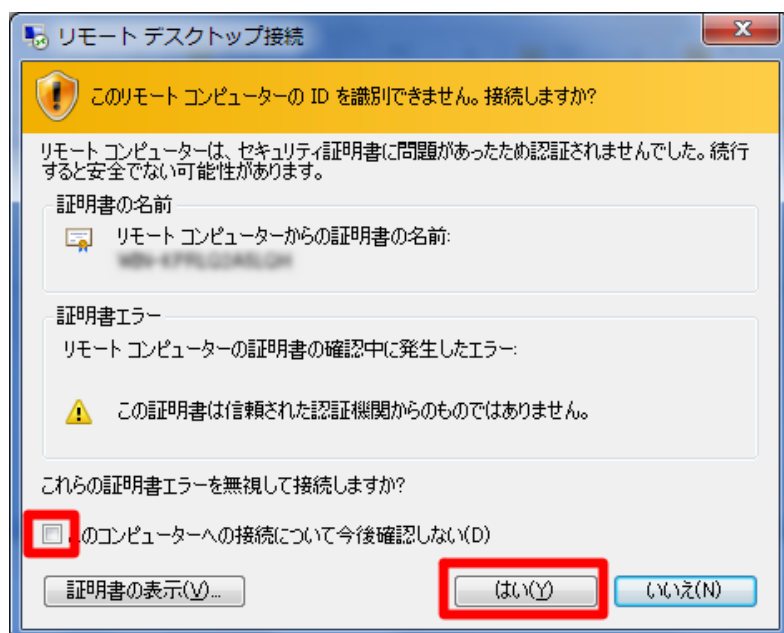
【3】下記の確認メッセージが表示されましたら、「このコンピューターへの接続について今後確認しない (0)」にチェックを入れ、「接続」をクリックします。



【4】Windows セキュリティのダイアログが表示されましたら、「別のアカウントを使用」をクリックし VPS 業者から発行されているユーザ名とパスワードを入力します。



【5】下記のサーバ証明書に関する確認メッセージが表示されましたら、「このコンピューターへの接続について今後確認しない (D)」にチェックをいれ、「はい」をクリックします。



【6】Windows デスクトップの画面が表示されましたら、接続は成功です。ファイルの移動は、お使いのパソコンでコピーし、Windows デスクトップの画面で貼り付けすることで移動できます。MT4track のインストールはお使いになっている通常のパソコンと同じですので、ユーザガイドの通りにインストールをお願い致します。



## 6. MT4trackES稼働監視ソフトについて

2011/09/06 Version 1.48 のアップデートにて下記の強制終了の対策を行いました。

その為、現時点では強制終了は発生しないものと思われていますが、念の為、機能は残しておきます。

### MT4trackESの強制終了について

ごく一部の環境で MT4trackES が強制終了するとのことのご報告を頂いております。現象の調査を行っておりますが、当方の環境で再現ができず原因の特定が難しい状態です。

この現象について、現時点でわかっていることについては以下になります。

- ①発生しない方は一切発生せず、発生する方は定期的に発生する場合があります。
- ②メール設定の監視間隔を 5 秒等、小さい値に設定すると発生する可能性が高くなる。
- ③発生した場合、PC の再起動を行うことでその後の発生を防げる場合があります。
- ④1 週間に 1 回程度、PC の再起動を行うと発生を防げる場合があります。

引き続き調査を行っておりますので、もし強制終了が発生した場合には、発生した状況（いつ発生したか、今まで発生したことがあるか、PC は何日間起動したままとなっているか等）ご連絡頂ければ幸いです。ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

強制終了の暫定的な対策として、MT4trackES が強制終了した場合に、自動で MT4trackES の再立ち上げを行う、MT4trackES 稼働監視ソフトをご提供することと致しました。ご利用頂ければ幸いです。



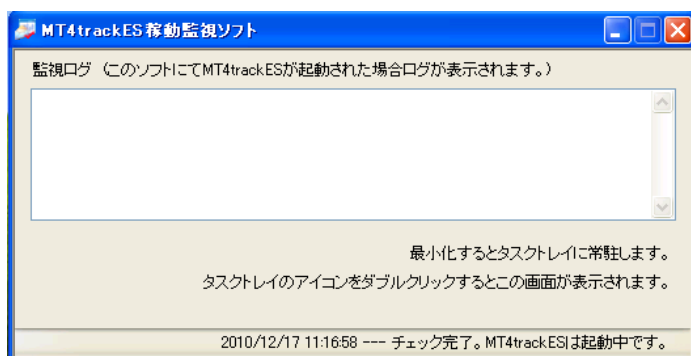
## MT4trackES稼働監視ソフトの使用方法

定期的な PC の再起動が難しい場合には、この MT4trackES 稼働監視ソフトにて、MT4trackES が強制終了した場合、自動で再立ち上げできます。

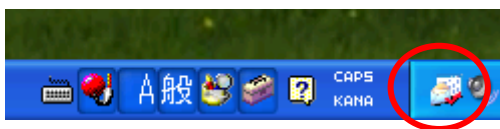
MT4trackES をインストールすると、デスクトップ、またはスタートメニューに「MT4trackES 稼働監視ソフト」のショートカットが作成されます。



起動すると、以下のような画面が表示され、起動と同時に MT4trackES の稼働監視がスタートします。10 秒ごとに MT4trackES が起動されているか確認を行い、起動されていない場合、このソフトが自動的に MT4trackES を起動します。



最小化するとタスクトレイに表示されます。再度画面を表示する場合は、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしてください。稼働監視ソフトを停止する場合は、画面の×ボタンで閉じて頂くか、タスクトレイのアイコンを右クリックし終了を選択してください。

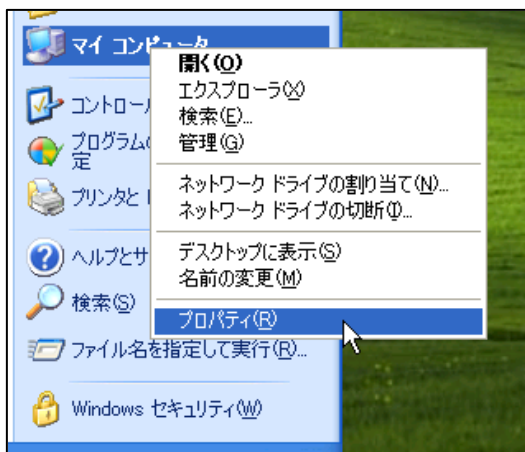


## MT4trackES稼働監視ソフトをご利用頂く場合の注意事項

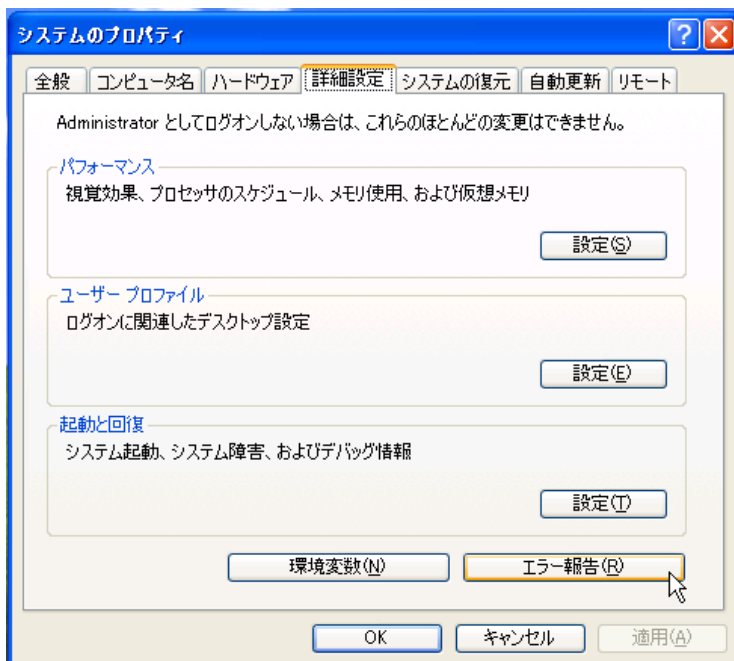
1. 稼働監視ソフトを利用する場合には、MT4trackES のその他設定ボタンにて「起動時にメール監視をスタートする」をチェックしてください。このチェックを行わないと、稼働監視ソフトで MT4trackES が起動されてもメール監視がスタートしません。
2. OS でエラー報告が有効になっている場合、強制終了時にダイアログが表示され、終了されない状態になることから OS のエラー報告の機能を以下の手順で無効にしてください。

### Windows XP の場合

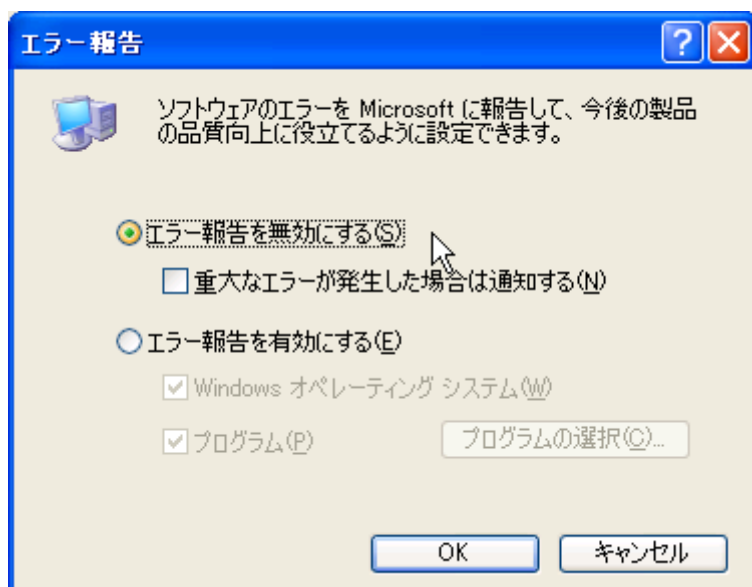
- ① スタートメニューからマイコンピュータを右クリックし、プロパティをクリックします。



- ② 詳細設定タブを表示しエラー報告をクリックします。



③エラー報告の画面が表示されましたら、下図のように「エラー報告を無効にする」を選択後、「重大なエラーが発生した場合は通知する」のチェックを外し、OK ボタンで画面閉じてください。システムのプロパティ画面に戻りますので、その画面も OK ボタンで閉じてください。

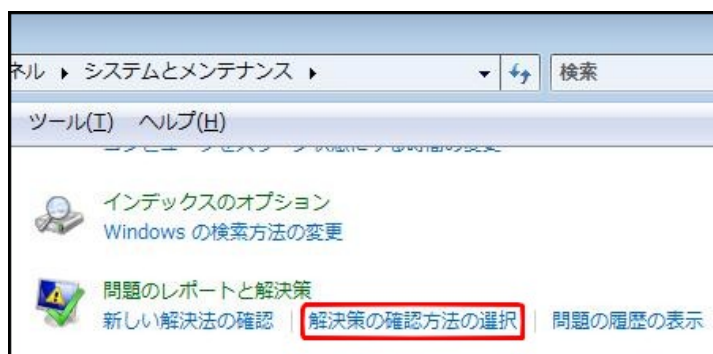


## Windows Vista の場合

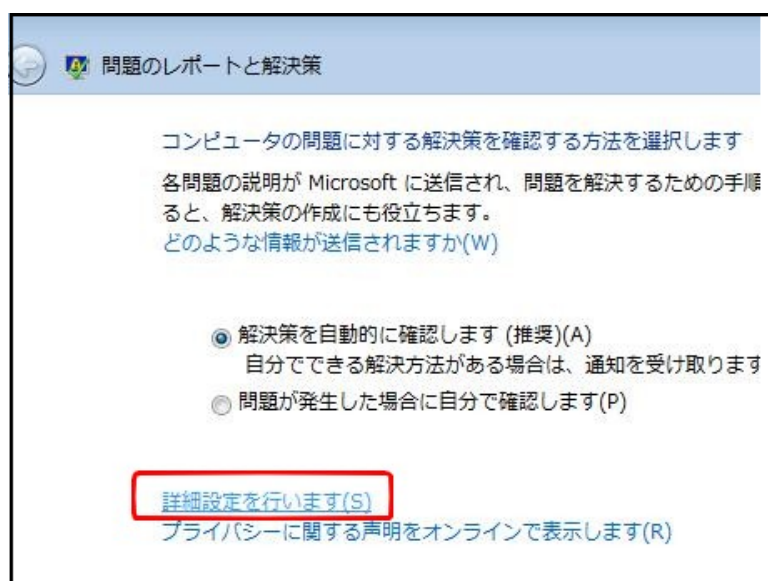
① スタートメニューからコントロールパネルを表示し「システムとメンテナンス」をクリックします。



② 「解決策の確認方法の選択」をクリックします。



③ 「詳細設定を行います」をクリックします。



- ④「無効にします」を選択し、OK ボタンで画面を閉じてください。

問題のレポートと解決策

問題レポートの詳細設定を行います

プログラムに対して、問題レポートを有効にするかどうか選択してください:

☐ 有効にします(N)

☒ 無効にします(E)

すべてのユーザーとプログラムに対して、問題レポート機能は、  
各ユーザーによる設定の選択を許可します

すべてのユーザーに対して、Windows は、各ユーザーによるレポート設定の

追加情報の送信

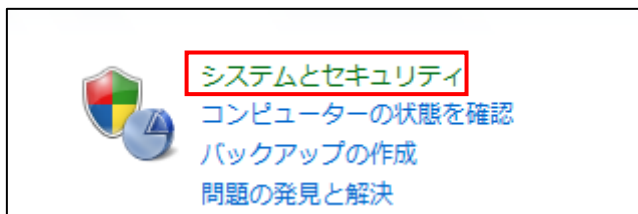
☐ 問題の解決に必要な追加情報がある場合は、自動的に送信します(M)

どのような情報が送信されますか?(W)

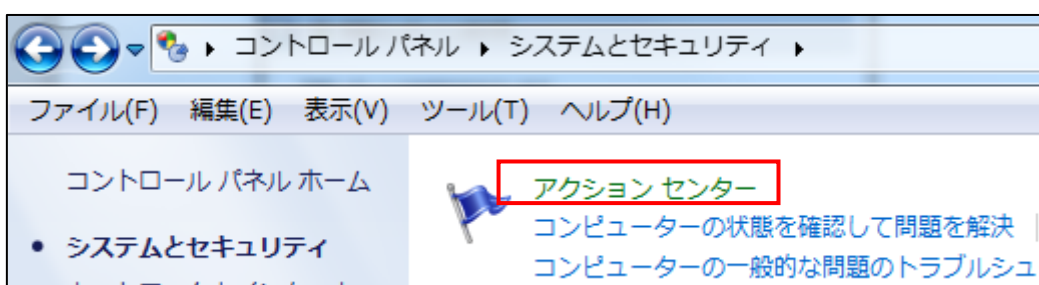
プライバシーに関する声明をオンラインで表示します(P)

## Windows 7、お名前.com デesktopクラウドの場合

①スタートメニューからコントロールパネルを表示し「システムとセキュリティ」をクリックします。



②アクションセンターをクリックします。



③「メンテナンス」をクリックして展開し、「設定」をクリックします。



- ④「解決策を確認しない」を選択し、OK ボタンで画面を閉じてください。

報告された問題の解決策をいつ確認するかを選択します

問題レポートを Microsoft に送信すると、解決策が見つかったときに連絡を受けることができま  
報を送信するかはユーザーが調整することができます。

送信される情報について(W)

- ☐ 解決策を自動的に確認する (推奨)(A)
- ☐ 解決策を自動的に確認し、必要な場合に追加のレポート データを送信する(S)
- ☐ 問題が発生するたびに、解決策を確認するかどうかメッセージを表示する(M)
- ☒ 解決策を確認しない (推奨しません)(N)

## 7. FAQ

**Q：MT4trackES\_Trader をチャートに組み込むと、エラーが表示され、MetaTrader4 が強制的に終了してしまいます。**

A：MetaTrader4 のバージョンが古い場合に動作異常が発生します。

通常ですと MetaTrader4 起動時に自動でバージョンアップ警告が表示されるはずですがそれが表示されない場合は、業者のホームページから MetaTrader4 をダウンロードし、再インストール→バージョンアップを行ってください。

**Q：ポジション保有中に MT4trackES を停止する場合の注意点を教えてください。**

A：MT4trackES は終了してもポジション情報は保持されますが、再起動した場合はメール監視がストップしていますので、監視スタートボタンで再度監視をスタートさせてください。また、MT4trackES\_Trader をセットした MetaTrader4 に関しても、終了した場合にはポジション情報は保持されますので、再度起動した時点で売買が継続されます。

ポジション保有中に使用を停止する場合には、MT4trackES にてすべての注文を削除するか、MetaTrader4 側ですべてのポジションを決済、または T/P、S/L をセットして自動で決済されるようにしてください。

**Q：期限が切れたのでファイルを更新しましたが、期限が切れたままです。**

A：「MT4trackES\_Trader をセットした MetaTrader4 をインストールしたフォルダ ¥experts¥libraries」フォルダ以外に MT4trackES.dll が存在しないかご確認頂き、あった場合は削除してください。

**Q：複数の口座で売買したいのですが**

A：MT4trackES\_Trader の売買を、通常版 MT4track にて追跡することで、複数口座の売買が可能です。

**Q：VPS で MT4trackES を利用したいのですが**

A：VPS については、各社多様なサービス形態となっていることから、サポート対象外とさせて頂いております。代わりに、VPS とは若干異なりますが、[「お名前.com デスクトップクラウド」](#)をサポート対象としております。

「[お名前.com デスクトップクラウド](#)」は、VPS のホームページ公開や、メールサーバといったサーバ機能を無くし自動売買等に特化したリモートデスクトップ環境を提供するサービスです。VPS と同様に 24 時間稼働させることができますし、一般的な VPS よりも性能が高く安価となっています。



**Q：外出先から、ポジションを決済したいのですが**

A:送信元アドレスには、カンマ区切りで複数のアドレスを登録することが可能です。下図のように、お客様の携帯等のメールアドレスも登録し、携帯から決済メールを送信することで、外出先から手動決済することができます。

<input checked="" type="checkbox"/> この設定の売買を有効にする
送信元アドレス <input type="text" value="mail1@aa.com,mobile@docomo.co.jp"/>

**Q：MT4trackES を起動すると、セキュリティソフトにて警告が表示されます。許可しても大丈夫でしょうか？**

A: MT4trackES は、起動時にバージョンのチェック(当方のサーバとの通信)と、メール送受信時にメールサーバとの通信を行います。通信は仕様上必要な物のみとしており、お客様の個人情報保護は保護されておりますので、MT4trackES の通信が許可されるよう、セキュリティソフトの設定をお願い致します。

**Q：Gmail を使用していますが、メールを受信できない場合があります。**

A: Gmail の POP アクセスは受信できる件数に制限があり、最大で 275 スレッドとなります。その為、Gmail の「すべてのメール」にそれ以上のメールがある場合には、直近のメールが受信できなくなります。

また、他のメールソフトにて POP アクセスしている場合にも、他のソフトにて受信されているメールを受信できなくなる場合があります。

そのような場合には、MT4trackES のメール設定にて、ユーザ ID に「recent:aaa@gmail.com」のように、先頭に「recent:」を付けてユーザ ID を設定してください。これにより、過去 30 日間のメールが常に受信対象となります。

**Q：「新規」に設定した解析文字列と、「決済」に設定した解析文字列がどちらもメールに含まれている場合は、新規メールと判別しますか？決済メールと判別しますか？**

A: Ver0.11beta から処理内容の判別に優先順位を設定しました。処理内容の「新規」「決済」「変更」「取消」に設定した文字列が、すべてシグナルメールに含まれている場合の優先順位は、優先順位が高い順に「決済」「取消」「変更」「新規」となります。

その為、「新規」に設定した解析文字列と、「決済」に設定した解析文字列がどちらもメールに含まれている場合は、決済メールと判別します。

**Q：トレイリングストップの値を変更した場合、注文中のポジションに反映されますか？**

A：反映されません。注文が行われた時点でのトレイリングストップの設定によって、ストップ変更、決済が行われます。

**Q：メール受信状況の結果に「×」が表示されます。**

A：「×」が表示されているメールをダブルクリックし、結果を確認してください。  
決済メール等は、解析が成功しても、決済する対象のポジションが存在しない場合「×」が表示されます。

**Q：解析は成功しましたが、MT4 での注文がエラーとなります。**

A：MT4trackES\_Traderをセットしているチャート画面のトレードログにエラー内容が表示されます。[MetaTrader4 のチャート左上に表示されるコメントについて](#)の「エラーについて」をご確認ください。

**Q：メール設定でプロバイダのメールを設定しましたが接続が失敗します。**

A：メール設定のポート「995」とSSL接続のチェックはYahoo メール、Gmail の設定となりますので、お使いのプロバイダのWEB サイト等でポートとSSL接続のチェック有無をご確認いただき、正しい値に変更してください。

**Q：解約をしたいのですがどのような手続きが必要ですか？**

A：インフォカートの購入者ログインページにログインし、購読しているメルマガのリストから、MT4track のメルマガを選び利用解除をクリックしてください。次月の使用料の課金は月末日に行われますので、月末日の前日までに解除をお願い致します。

**Q：月額使用料はどのように課金されるのでしょうか？**

A：インフォカートの説明ページをご確認ください。

<http://www.infocart.jp/help/1-4.html>

上記サイトの「購読開始時の課金について」はMT4track は次月無料となりますので、「当月は課金されるが2ヶ月目は無料」の所をご確認ください。

**Q：解析は成功するがMetaTrader4 側にてストップの変更が行われません。**

A：トレイリングストップを有効にしている場合、ストップの変更が無視されますので、ストップの変更を行いたい場合にはトレイリングストップ機能を無効にしてください。

Q：複数の通貨ペアの売買を行う場合、それぞれの通貨ペアに MT4trackES\_Trader をセットするのでしょうか？

Q：MetaTrader4 にて注文が 2 重に行われてしまうのですが

A：MT4trackES\_Trader はセットしたチャートの通貨ペア以外の売買も行いますので、**任意の通貨ペアのチャートに 1 つだけ MT4trackES\_Trader をセット**してください。

複数の通貨ペアに MT4trackES\_Trader をセットしてしまうと、2 重に売買が行われてしまいますのでご注意ください。

Q：価格が十分に離れているにもかかわらず、指値注文や変更注文が「～に無効な値が設定された為、注文がエラーになりました。」「～に無効な値が設定された為、注文変更がエラーになりました。」と MT4trackES\_Trader のログに表示され注文されません。

A：現在調査中ですが、ブローカーによっては価格が十分に離れているにもかかわらず意図的に注文をエラーとし、一時的に注文を行えないような状態にすることもあるようです。その為、注文のリトライを行う機能を検討しております。

Q：MT4trackES\_Trader をチャートにセットしましたが、チャート左上にバージョン情報やポジション情報等の情報が表示されません。

A：チャートにセットした後、価格の変動があると MT4trackES\_Trader の動作が開始されますが、土日の FX 市場が閉じている間にセットした場合、価格の変動がない為 MT4trackES\_Trader は動作しません。月曜に市場が開いて価格が配信され始めると MT4track が動作し、情報が表示されます。

Q：MT4trackES\_Trader をセットした MT4 にて「Do you permit to call function ～」という確認画面が表示され MT4trackES\_Trader が動作しません。

A：MT4 のオプション設定の Expert Advisors のタブにて「Confirm DLL function calls」がチェックされていることが原因です。確認画面が表示されている間は MT4trackES\_Trader が動作致しませんので MT4 のチャートを一旦すべて閉じて頂き、MT4 オプション設定の Expert Advisors のタブを [MetaTrader4 側の設定](#) の通りに変更して頂き、再度 MT4trackES\_Trader をセットしてください。

**Q：決済メールが来ても決済されません。**

A：

「新規注文メール」

新規 EURJPY 126.59 **買**

ストップロス 126.34

「決済メール」

決済 EURJPY 126.60 **売**

上記のように、買い注文の決済メールは「売」、売り注文の決済メールには「買」とメール内容に表記されるシグナルの場合、MT4trackESでは

買い注文の決済メールは売りの注文の決済

売り注文の決済メールは買いの注文の決済

と逆に認識してしまうため決済対象のポジションを特定できず決済が行われません。その為、**設定④タブの「決済メールの「買い」「売り」を逆にして解析する」**をチェックしてください。

**Q：MT4trackES\_Trader をセットしたチャートのトレードログに「T/P か S/L に無効な値が設定された為、注文がエラーになりました。」と表示されすべての注文が行われません。**

A：成行注文時に T/P、S/L が設定できないブローカーについては、MT4trackES\_Trader のパラメータ「ECN」を true に設定してください。

**Q：解析は成功しているようですが、MT4 にて売買が行われません。**

A：MT4trackES にて解析が成功しても MT4 側でエラーとなり、注文が行われない場合があります。MT4 側でエラーとなった際には、MT4trackES\_Trader をセットしたチャートにエラー内容が表示されます。[\(MetaTrader4 のチャート左上に表示されるコメントについて\)](#) エラー内容を確認頂いても原因がわからない場合には、サポートにご連絡ください。

## 8. 設定例

この章では、解析設定の設定例を紹介します。

### 例 1 すべての成り行き注文によるシグナルメール

新規売りメール	決済メール
通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ショート 操作種類：オープン レート：156.94 ストップ：157.72 推奨枚数：1枚	通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ショート 操作種類：クローズ オープン日時：6/8-20:25 オープンレート：156.94 クローズ日時：6/8-20:44 クローズレート：156.61 結果：33Pips 推奨枚数：1ロット
新規買いメール	
通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ロング 操作種類：オープン レート：158.25 ストップ：155.00 推奨枚数：1枚	

設定① 設定② 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする  
送信元アドレス test@aa.com  

通貨ペア設定  
☐ 通貨ペアは固定値とする GBP JPY

処理内容  
新規 オープン 決済 クローズ  
変更 変更 取消 取消

注文種別  
買い ロング 売り ショート

注文数量  
☐ 固定 1 ☒ 解析する 推奨枚数:

注文方法  
☒ すべての成行 ☐ すべての指値 ☐ 注文方法を解析する  
成行 指値

成行価格、指値価格  
解析文字列 レート:

リミット  
☐ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☒ 固定値 0 pips  
解析文字列

ストップ  
☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips  
解析文字列 ストップ:

## 例 2 すべての成り行き注文によるシグナルメール その 2

新規売りメール	決済メール
Currency:GBPJPY Action:[Sell]	Currency:GBPJPY Action:[Exit]
新規買いメール	
Currency:GBPJPY Action:[Buy]	

設定①
 設定②
 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする  
 送信元アドレス test@aa.com

**通貨ペア設定**  
☐ 通貨ペアは固定値とする USDJPY

**処理内容**  
 新規 Buy,Sell 決済 Exit  
 変更 取消

**注文種別**  
 買い Buy 売り Sell

**注文数量**  
☒ 固定 1 ☐ 解析する

**注文方法**  
☒ すべての成行 ☐ すべての指値 ☐ 注文方法を解析する  
 成行 指値

**成行価格、指値価格**  
 解析文字列

**リミット**  
☐ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☒ 固定値 0 pips  
 解析文字列

**ストップ**  
☐ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☒ 固定値 0 pips  
 解析文字列

### 例 3 指値注文のシグナルメール

#### 新規指値売りメール

USD/JPY 新規売り  
 プライス : 98.75  
 ストップ : 30pips  
 リミット : 50pips

#### 新規指値買いメール

USD/JPY 新規買い  
 プライス : 96.50  
 ストップ : 40pips  
 リミット : 50pips

設定①	設定②	特殊設定
<input checked="" type="checkbox"/> この設定の売買を有効にする 送信元アドレス <input type="text" value="test@aa.com"/>		
<b>通貨ペア設定</b> <input type="checkbox"/> 通貨ペアは固定値とする <input type="text" value="GBPJPY"/>		
<b>処理内容</b> 新規 <input type="text" value="新規"/> 決済 <input type="text" value=""/> 変更 <input type="text" value=""/> 取消 <input type="text" value=""/>		
<b>注文種別</b> 買い <input type="text" value="買い"/> 売り <input type="text" value="売り"/>		
<b>注文数量</b> <input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="text" value="1"/> <input type="radio"/> 解析する <input type="text" value=""/>		
<b>注文方法</b> <input type="radio"/> すべて成行 <input checked="" type="radio"/> すべて指値 <input type="radio"/> 注文方法を解析する 成行 <input type="text" value=""/> 指値 <input type="text" value=""/>		
<b>成行価格、指値価格</b> 解析文字列 <input type="text" value="プライス:"/>		
<b>リミット</b> <input type="radio"/> 価格を解析 <input checked="" type="radio"/> Pipsを解析 <input type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text" value="リミット:"/>		
<b>ストップ</b> <input type="radio"/> 価格を解析 <input checked="" type="radio"/> Pipsを解析 <input type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text" value="ストップ:"/>		

## 例 4 特殊設定を使用するメール

ポンド円とドル円のみです。

### ■ポンド円

買 161.75

売 161.19

推奨リミット 40pips

推奨ストップ 56pips

### ■ドル円

買 98.32

売 98.10

推奨リミット 20pips

推奨ストップ 22pips

設定①	設定②	特殊設定
<input checked="" type="checkbox"/> この設定の売買を有効にする		
送信元アドレス <input type="text" value="test@aa.com"/>		
<b>通貨ペア設定</b> <input type="checkbox"/> 通貨ペアは固定値とする <span>GBP JPY</span>		
<b>処理内容</b> 新規 <input type="text" value="買,売"/> 決済 <input type="text"/> 変更 <input type="text"/> 取消 <input type="text"/>		
<b>注文種別</b> 買い <input type="text"/> 売り <input type="text"/>		
<b>注文数量</b> <input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="text" value="1"/> <input type="radio"/> 解析する <input type="text"/>		
<b>注文方法</b> <input type="radio"/> すべて成行 <input checked="" type="radio"/> すべて指値 <input type="radio"/> 注文方法を解析する 成行 <input type="text"/> 指値 <input type="text"/>		
<b>成行価格、指値価格</b> 解析文字列 <input type="text"/>		
<b>リミット</b> <input type="radio"/> 価格を解析 <input checked="" type="radio"/> Pipsを解析 <input type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text" value="推奨リミット"/>		
<b>ストップ</b> <input type="radio"/> 価格を解析 <input checked="" type="radio"/> Pipsを解析 <input type="radio"/> 固定値 <input type="text" value="0"/> pips 解析文字列 <input type="text" value="推奨ストップ"/>		

次頁へ続く



MT4trackES では、通貨ペア名が表示された所でメールを区切って別通貨ペアのシグナルとして解析を行う為、通貨ペア名が2回以上表示されてしまう場合には、余分な通貨ペア表示を削除するように設定してください。

削除文字列が毎回異なり特定できない場合は、通貨ペア設定にて通貨ペア名を特定できるように設定します。この例の場合は、シグナル部分に表示される通貨ペア名の前に「■」が表示されるため、それを含めて通貨ペア名を判定できるように設定します。また、指定した文字列が優先されるように、先頭に追加してください。

通貨ペア	桁数	解析文字列
USDJPY	2	■ドル円,USDJPY,USD/JPY,ドル円,ドル/円,ドル/円,ドル・円,米ドル/円
GBPJPY	2	■ポンド円,GBPJPY,GBP/JPY,ポンド円,ポンド/円,ポンド/円,ポンド・円,ポンド/円

買いと売りが同時に通知されるメールの為、特殊設定を有効にします。

## 例 5 変更が発生するシグナルメール 1 (変更前の情報が表示されない場合)

新規売りメール	変更メール
通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ショート 操作種類：新規 レート：156.94 リミット：155.25 ストップ：159.72 推奨枚数：1 枚	通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ショート 操作種類：変更 リミット：154.58 ストップ：159.00

変更が発生する為、処理内容の変更に解析文字列を設定します。

設定① 設定② 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする  
送信元アドレス test@fxspseries.com  

通貨ペア設定  
☐ 通貨ペアは固定値とする USDJPY

処理内容  
新規 操作種類:新規 決済 操作種類:決済  
変更 操作種類:変更 取消

注文種別  
買い ロング 売り ショート

注文数量  
☒ 固定 1 ☐ 解析する

注文方法  
☒ すべて成行 ☐ すべて指値 ☐ 注文方法を解析する  
成行 指値

成行価格、指値価格  
解析文字列 レート:

リミット  
☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips  
解析文字列 リミット:

ストップ  
☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips  
解析文字列 ストップ:

## 例 6 変更が発生するシグナルメール 2 (変更前の情報が表示される場合)

新規売りメール	変更メール
通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ロング 操作種類：新規 レート：156.94 リミット：158.25 ストップ：157.72 推奨枚数：1 枚	通貨ペア：GBP/JPY ポジション：ロング 操作種類：変更 オープン日時：6/8-20:25 リミット：158.25 → 159.00 ストップ：157.72 → 157.00

設定① 設定② 特殊設定

☒ この設定の売買を有効にする

送信元アドレス test@fxspseries.com

通貨ペア設定  
☐ 通貨ペアは固定値とする USDJPY

処理内容  
新規 操作種類:新規 決済 操作種類:決済  
変更 操作種類:変更 取消

注文種別  
買い ロング 売り ショート

注文数量  
☒ 固定 1 ☐ 解析する

注文方法  
☒ すべて成行 ☐ すべて指値 ☐ 注文方法を解析する  
成行 指値

成行価格、指値価格  
解析文字列 レート:

リミット  
☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips  
解析文字列 リミット:

ストップ  
☒ 価格を解析 ☐ Pipsを解析 ☐ 固定値 0 pips  
解析文字列 ストップ:

次頁へ続く

変更前のリミットとストップが表示される場合には、変更前と変更後を特定する為に、設定②の変更メール拡張設定にて、解析文字列をそれぞれ指定します。

この例の変更メールの場合、初回のリミットとストップが記述されている為、該当部分には価格に置き換える「¥0」を記述します。

「¥0」と記述することで、その部分を価格と置き換えて解析しますので、リミットは、「リミット：158.25 → **159.00**」の赤字の部分が変更後のリミットとして認識されます。同様にストップは、「ストップ：157.72 → **157.00**」の赤字の部分が変更後のストップとして認識されます。

設定①	設定②	特殊設定
<b>その他</b>		
<input type="checkbox"/> メールの件名も解析対象に含める		
下記文字列が含まれるメールのみ解析する <input type="text"/>		
下記文字列がメールに含まれる場合は解析しない <input type="text"/>		
解析前に下記文字列をメール本文から削除する <input type="text"/>		
<b>スプレッド補正</b>		
<input type="checkbox"/> スプレッド分を補正して注文を行う		
<b>強制決済</b>		
<input type="checkbox"/> 指定した時間に保有ポジションの決済、取消を行う		
毎日 <input type="text" value="0"/> 時 (ローカルPCの時刻を0~23で指定)		
<b>変更メール拡張設定</b>		
<input type="checkbox"/> 変更メールに変更前のプライスが含まれる		
変更後プライス解析文字列 <input type="text"/>		
変更後リミット解析文字列 <input type="text" value="リミット:¥0→"/>		
変更後ストップ解析文字列 <input type="text" value="ストップ¥0→"/>		

## 例 7 一つのメールに複数のシグナルがあるメール 1

新規メール
USD/JPY 注文種類 : エントリー ポジション: ロング
GBP/JPY 注文種類 : エントリー ポジション: ショート
EUR/JPY 注文種類 : エントリー ポジション: ショート

通貨ペア名でシグナルが区切られている場合には、通常のシグナルと同じように設定するだけでMT4trackES が複数のシグナルを自動で検知して解析を行います。

The screenshot shows the '設定①' (Settings 1) tab in the MT4trackES application. The window is divided into several sections for configuring signal processing:

- この設定の売買を有効にする** (Enable trading for this setting): Checked.
- 送信元アドレス** (Sender address): test
- 通貨ペア設定** (Currency pair setting):
  - ☐ 通貨ペアは固定値とする (Currency pair is fixed value): Unchecked.
  - AUDCAD (dropdown menu)
- 処理内容** (Processing content):
  - 新規 (New): エントリー (Entry)
  - 決済 (Close): クローズ (Close)
  - 変更 (Change):
  - 取消 (Cancel):
- 注文種別** (Order type):
  - 買い (Buy): ロング (Long)
  - 売り (Sell): ショート (Short)
- 注文数量** (Order quantity):
  - ☒ 固定 (Fixed): 1
  - ☐ 解析する (Analyze):
- 注文方法** (Order method):
  - ☒ すべて成行 (All market orders)
  - ☐ すべて指値 (All limit orders)
  - ☐ 注文方法を解析する (Analyze order method)
- 成行価格、指値価格** (Market price, limit price):
  - 解析文字列 (Parsing string):
- リミット** (Limit):
  - ☐ 価格を解析 (Analyze price)
  - ☐ Pipsを解析 (Analyze pips)
  - ☒ 固定値 (Fixed value): 0 pips
- ストップ** (Stop):
  - ☐ 価格を解析 (Analyze price)
  - ☐ Pipsを解析 (Analyze pips)
  - ☒ 固定値 (Fixed value): 0 pips

次頁へ続く

複数のシグナルがある場合、解析結果は複数の結果が表示されます。下記図の赤で囲んだ部分を見ると「1/3」と3つの結果が出ますので、「<」「>」ボタンで結果を切り替えてすべての結果を確認してください。

また、一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様については「[一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様](#)」に詳しい仕様を記載しておりますのでご確認ください。

## 例 8 一つのメールに複数のシグナルがあるメール 2

新規メール	決済+新規
Order Sign  OPEN SELL EURJPY Stoploss 109.17  OPEN SELL GBPUSD Stoploss 1.5685	Order Sign  CLOSE BUY EURJPY CLOSE BUY GBPUSD OPEN SELL EURJPY Stoploss 107.65 OPEN SELL GBPUSD Stoploss 1.5542

この例は通貨ペア名でシグナルが区切られていない場合の設定例となります。設定①については、特に注意点は無く、メール通りに処理内容、注文種別等を設定します。

次頁へ続く

設定④については注意が必要です。

一つのメールに複数のシグナルがあり、それぞれのシグナルが通貨ペア名で区切られていない為、設定④「指定区切り解析を有効にする」を有効にし、「区切り文字列」を指定します。このメールの場合、シグナルの先頭には OPEN または CLOSE が表記されることから、区切り文字列は「OPEN,CLOSE」と設定します。この設定により次で色分けしたようにシグナルが区切られて解析が行われます。

新規メール	決済+新規
Order Sign  OPEN SELL EURJPY Stoploss 109.17  OPEN SELL GBPUSD Stoploss 1.5685	Order Sign  CLOSE BUY EURJPY CLOSE BUY GBPUSD OPEN SELL EURJPY Stoploss 107.65 OPEN SELL GBPUSD Stoploss 1.5542

また、このメールは新規時と決済時の買い、売りの表記が逆になることから、設定④「決済メールの「買い」「売り」を逆にして解析する」を有効にしています。

また、一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様については「[一つのメールに複数のシグナルがある場合の解析仕様](#)」に詳しい仕様を記載しておりますのでご確認ください。



## 9. お問い合わせ頂く際のお願い

解析設定や、不具合のお問い合わせ頂く際は、ここに記載の内容を参考にお問い合わせください。「動かない」「うまく売買されない」等だけのご連絡ですと何度もメールのやり取りが発生しお時間を頂くことになりますので、ご協力をお願い致します。

お問い合わせは [mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com) までお願い致します。

### 解析設定に関する質問

この配信サービスは対応していますか。解析設定をしてみたがうまく解析されないのですが。等々、解析設定に関するご質問の場合には、以下の内容のご連絡をお願い致します。

- ①現在の解析設定をエクスポートして頂き、メールに添付
- ②配信サービスの販売先サイト URL
- ③メール配信内容のサンプル(新規、変更、決済それぞれのメール)  
(②を確認することでわかる場合は省略可)

### 不具合に関する質問

不具合に関するご質問の場合には以下の内容のご連絡をお願い致します。

- ①不具合の状況がわかる PC 画面のスクリーンショット
- ②不具合内容(なるべく具体的にご説明ください)
- ③不具合の発生状況(確実に発生する、たまに発生する等々)
- ④ログファイル※

※ログは 2 種類あります。

- 1. MT4trackES\_Trader を稼働させている MT4 をインストールしたフォルダ内の logs フォルダの「日付.log」というファイル。現象が発生した日付のログファイルをご送付ください。
- 2. 同じく MT4trackES\_Trader を稼働させている MT4 をインストールしたフォルダ内の experts フォルダ→files フォルダ→MT4trackES フォルダの下の「MT4tracklog\_日付.txt」というファイル。現象が発生した日付のログファイルをご送付ください。

MT4 をインストールしたフォルダの場所がわからない場合について

WindowsXP の場合、C:\Program Files\MetaTrader4 等となり「MetaTrader4」の部分がブローカーにより異なります。デスクトップにある MT4 のショートカットを右クリックしプロパティを表示することでフォルダの場所を確認することができます。

## 10.最後に

今後の開発の参考にさせていただきますので、ご意見、ご感想、何か気付かれた点等ございましたら、気軽に[mt4track@fxspseries.com](mailto:mt4track@fxspseries.com)までご連絡ください。よろしくお願い致します。  
また、こんな商品が欲しい等のご要望も受け付けております。